

参考付表

国民経済及び森林資源

1 林業関係基本指標

項目	単位	S55年 (1980)	H2 (90)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
① 国内総生産	億円	2,428,387	4,427,810	4,951,655	5,029,899	5,017,344	5,073,648	5,155,204	5,043,776	4,709,367
林業	//	8,260	6,612	6,958	8,865	4,464	4,775	4,973	4,379	3,874
林業/総生産	%	0.34	0.15	0.14	0.18	0.09	0.09	0.10	0.09	0.08
② 就業者総数	万人	5,536	6,249	6,457	6,446	6,356	6,382	6,412	6,385	6,282
林業	//	19	11	9	7	6	6	5	6	6
林業/総就業	%	0.34	0.18	0.14	0.11	0.09	0.09	0.08	0.09	0.10
③ 国土面積	万ha	3,777	3,777	3,778	3,779	3,779	3,779	3,779	3,779	3,779
④ 森林面積	//	2,528	2,521	2,515	2,515	2,512	2,512	2,510	2,510	2,510
森林/国土	%	67.8	67.6	67.5	67.5	67.4	67.4	67.3	67.3	67.3
⑤ 保安林面積	万ha	732	830	857	893	1,165	1,176	1,188	1,191	1,196
保安林/森林	%	29.0	32.9	34.1	35.5	46.4	46.8	47.3	47.5	47.7
⑥ 森林蓄積	億m ³	25	31	35	35	40	40	44	44	44
⑦ 木材(用材)需要(供給)量	万m ³	10,896	11,116	11,192	9,926	8,586	8,679	8,236	7,797	6,321
国内生産量	//	3,456	2,937	2,292	1,802	1,718	1,762	1,863	1,873	1,759
輸入量	//	7,441	8,179	8,901	8,124	6,868	6,917	6,374	5,923	4,562
木材(用材)自給率	%	31.7	26.4	20.5	18.2	20.0	20.3	22.6	24.0	27.8
⑧ 新設住宅着工戸数	万戸	127	171	147	123	124	129	106	109	79
木造率	%	59.2	42.6	45.3	45.2	43.9	43.3	47.6	47.3	54.6

資料：①内閣府「国民経済計算」、②総務省「労働力調査」、③国土交通省「全国都道府県市区町村別面積調」、

④⑤⑥林野庁業務資料、⑦林野庁「木材需給表」、⑧国土交通省「建築着工統計」

注1：国土面積には北方四島の面積が含まれる。森林面積には北方四島の面積は含めていない。

2：森林/国土の割合における国土面積には、北方四島を含めていない。

3：保安林面積は、実面積の数値。

4：木材(用材)需要(供給)量、国内生産量及び輸入量は、丸太換算の数値。

2 経済活動別国内総生産(名目)

(単位：十億円)

項目	H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
国内総生産	442,781	495,166	502,990	501,734	507,365	515,520	504,378	470,937
産	416,272	463,956	468,062	465,356	467,176	471,953	458,212	423,165
農林水産業	10,916	9,346	8,896	7,628	7,437	7,326	7,192	6,659
林業	661	696	887	446	478	497	438	387
鉱業	1,121	861	627	488	435	348	311	300
製造業	117,316	114,669	111,439	107,877	107,766	109,090	102,982	84,732
パルプ・紙	3,365	3,399	3,237	2,922	2,564	2,435	2,474	2,349
製材・木製品	1,516	1,469	1,240	960	890	836	793	658
建設業	43,439	40,850	37,130	31,861	31,849	31,444	29,998	29,230
電気・ガス・水道業	11,232	13,329	13,576	12,051	11,565	10,280	9,000	10,890
卸売・小売業	58,324	75,788	70,661	69,065	68,234	69,906	69,326	59,015
金融・保険業	30,827	31,964	30,445	34,940	35,207	34,317	29,852	27,357
不動産業	43,051	53,757	57,864	60,100	60,465	61,292	61,806	62,305
運輸・通信業	29,090	35,264	34,821	33,612	33,524	34,130	34,115	31,999
サービス業	70,955	88,129	102,604	107,733	110,695	113,822	113,630	110,678
その他	26,509	31,209	34,928	36,379	40,189	43,567	46,165	47,772

資料：内閣府「国民経済計算」

注：計の不一致は四捨五入による。

3 林業産出額

(単位：千万円)

項目	H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
林業産出額	97,714	76,055	53,110	41,677	43,193	44,142	44,487	41,222
木材生産	72,814	52,661	32,213	21,023	21,685	22,556	21,330	18,607
針葉樹	55,250	43,676	26,533	17,741	18,367	19,518	18,039	15,609
す	21,502	18,739	12,378	8,753	9,256	10,288	9,412	8,160
広葉樹	16,870	8,602	5,472	3,171	3,219	2,938	3,205	2,922
薪炭生産	826	793	616	609	560	548	505	491
栽培きのこ類生産	22,943	21,832	19,689	19,850	20,705	20,830	22,398	22,002
林野副産物採取	1,132	770	592	196	243	208	255	122
生産林業所得	70,248	53,291	35,187	24,560	24,859	24,637	24,161	21,930

資料：農林水産省「生産林業所得統計報告書」(平成2(1990)、7(1995)、12(2000)、16(2004)～20(2008)年)、

「平成21年林業産出額」(平成21(2009)年)

注：計の不一致は四捨五入による。

4 我が国の森林資源の現況

(単位：千ha、万㎡)

区 分	総 数		立 木 地				無立木地		竹林面積	
			人 工 林		天 然 林		面積	蓄 積		
	面積	蓄 積	面積	蓄 積	面積	蓄 積				
総 数	25,097	443,174	10,347	265,131	13,383	177,939	1,208	104	159	
国 有 林	総 数	7,686	107,827	2,364	42,361	4,691	65,381	631	86	0
	所 林 総 数	7,623	107,090	2,355	42,082	4,646	64,923	622	86	0
	野 国 有 林	7,513	105,190	2,267	40,202	4,643	64,903	603	85	0
	官 行 造 林	101	1,901	88	1,880	2	20	10	0	0
	管 庁 対 象 外 森 林	9	0	0	0	0	0	9	0	0
	そ の 他 省 庁 所 管	63	737	9	280	45	457	9	0	0
民 有 林	総 数	17,411	335,347	7,983	222,770	8,693	112,559	577	18	159
	公 有 林 総 数	2,830	48,433	1,247	29,462	1,449	18,963	128	8	6
	都 道 府 県	1,188	19,035	464	10,066	667	8,968	56	1	1
	市 町 村 ・ 財 産 区	1,642	29,398	783	19,396	782	9,995	72	7	5
	私 有 林	14,535	286,351	6,724	193,060	7,217	93,281	445	10	150
	対 象 外 森 林	46	563	12	248	27	315	4	0	3

資料：林野庁業務資料

注1：森林法第2条第1項に規定する森林の数値。

2：「無立木地」は、伐採跡地、未立木地である。

3：更新困難地は天然林に含む。

4：対象外森林とは、森林法第5条に基づく地域森林計画及び同法第7条の2に基づく国有林の地域別の森林計画の対象となっている森林以外の森林をいう。

5：平成19(2007)年3月31日現在の数値。

6：計の不一致は四捨五入による。

5 民有林・国有林別の重視すべき機能に応じた森林の3区分の面積

(単位：千ha)

機能区分	小 計	育成単層林	育成複層林	天然生林	その他	計	割 合
		民有林	国有林	民有林	国有林	民有林	国有林
水土保全林	7,570	769	8,498	668	17,506	70%	
	5,693	347	5,886	478	12,405	50%	
	1,877	422	2,612	190	5,101	20%	
森林と人と共生林	403	79	2,230	495	3,207	13%	
	274	19	736	92	1,121	4%	
	129	60	1,494	403	2,086	8%	
資源の循環利用林	2,318	106	1,664	179	4,267	17%	
	1,996	91	1,594	159	3,840	15%	
	321	15	70	20	427	2%	
合 計	10,291	954	12,393	1,342	24,979	100%	

資料：林野庁業務資料

注1：森林法第5条及び第7条の2に基づく森林計画対象森林の面積。

2：その他は、竹林及び無立木地である。

3：割合は、合計の値に対する割合である。

4：平成19(2007)年3月31日現在の数値。

5：計の不一致は四捨五入による。

6 都道府県別森林面積

(単位：千ha)

都道府県	総 数	人工林	天然林	無立木地	竹 林	都道府県	総 数	人工林	天然林	無立木地	竹 林
全 国	25,097	10,347	13,383	1,208	159	三 重	373	231	133	7	2
北 海 道	5,538	1,505	3,704	329	0	滋 賀	205	84	113	6	1
青 森 県	634	274	340	20	0	京 都 府	343	131	201	6	6
岩 手 県	1,174	502	616	56	0	大 阪 府	58	28	27	2	2
宮 城 県	418	201	202	12	2	兵 庫 県	562	240	306	12	3
秋 田 県	839	410	407	22	0	奈 良 県	284	173	107	3	1
山 形 県	667	184	440	43	0	和 歌 山 県	364	221	137	4	2
福 島 県	972	343	579	49	1	鳥 取 県	258	139	110	5	3
茨 城 県	189	115	64	7	2	島 根 県	526	207	297	11	10
栃 木 県	353	159	180	13	1	岡 山 県	484	198	270	10	5
群 馬 県	423	181	215	26	1	広 島 県	613	199	399	13	2
埼 玉 県	122	60	60	1	0	山 口 県	439	197	224	5	12
千 葉 県	162	63	76	17	6	徳 島 県	312	192	112	7	2
東 京 都	80	35	39	5	0	香 川 県	88	27	54	3	3
神 奈 川 県	95	37	54	4	1	愛 媛 県	401	247	140	11	4
新 潟 県	862	164	563	133	2	高 知 県	599	392	196	7	5
富 山 県	284	53	170	61	1	福 岡 県	222	143	58	10	12
石 川 県	286	102	165	18	2	佐 賀 県	111	74	27	7	3
福 井 県	312	125	177	8	1	長 崎 県	243	105	126	9	3
山 梨 県	348	153	174	20	1	熊 本 県	466	282	150	23	11
長 野 県	1,060	446	545	67	2	大 分 県	453	239	174	26	13
岐 阜 県	866	387	436	42	1	宮 崎 県	589	357	214	13	5
静 岡 県	502	284	189	26	4	鹿 児 島 県	590	302	257	15	16
愛 知 県	220	141	72	3	3	沖 縄 県	105	12	83	10	0

資料：林野庁業務資料

注1：森林法第2条第1項に規定する森林の数値。

2：「無立木地」は、伐採跡地、未立木地である。

3：平成19(2007)年3月31日現在の数値。

4：計の不一致は四捨五入による。

7 人工造林面積

(単位: ha)

		H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
総	数	70,769	55,569	35,908	28,576	28,515	33,784	31,917	30,054
民 有 林	民 有 林 計	59,030	48,650	31,316	25,584	23,872	25,836	23,400	23,032
	私 営 計	30,320	25,259	15,292	14,325	13,985	15,310	13,941	12,202
	公 営 計	28,710	23,391	16,024	11,259	9,887	10,526	9,459	10,830
	森林整備法人等	9,416	5,757	2,193	464	293	366	371	362
	森林総合研究所	7,032	6,854	6,643	5,202	4,428	4,723	4,391	6,084
	市 町 村	6,251	4,515	2,832	1,950	1,825	1,791	1,668	1,756
	都 道 府 県	6,011	6,265	4,356	3,643	3,341	3,646	3,029	2,628
国 有 林	11,739	6,919	4,592	2,992	4,643	7,948	8,517	7,022	

資料: 林野庁業務資料

注1: 国有林には、林野庁所管以外の国有林は含まない。

2: 森林整備法人等とは、森林整備法人及び林業会社である。

3: 人工造林面積は、治山事業や自力等によるものを含む面積であり、育成複層林施業(人工林)における樹下植栽等の面積も含まれている。

4: 独立行政法人森林総合研究所によるものは、平成20(2008)年4月1日までは、独立行政法人緑資源機構によるものである。

5: 計の不一致は四捨五入による。

8 樹種別人工造林面積

(単位: ha)

	総 数	針 葉 樹					広 葉 樹
		ス ギ	ヒノキ	マツ類	カラマツ	その他	
H 2 (1990)年	(59,030)	(18,129)	(24,646)	(784)	(3,931)	(6,905)	(4,635)
	55,400	17,499	23,176	751	3,895	5,744	4,335
7 (95)	(48,650)	(13,660)	(22,332)	(219)	(2,739)	(5,544)	(4,156)
	45,241	13,196	20,908	199	2,677	4,577	3,684
12 (2000)	(31,316)	(8,223)	(11,574)	(233)	(2,524)	(4,954)	(3,808)
	28,480	7,967	10,745	223	2,493	4,014	3,038
17 (05)	(25,584)	(5,216)	(7,096)	(226)	(3,534)	(5,728)	(3,784)
	22,498	5,011	6,307	183	3,423	4,611	2,963
18 (06)	(23,872)	(4,845)	(5,998)	(256)	(3,521)	(5,144)	(4,108)
	21,048	4,579	5,225	229	3,340	4,327	3,348
19 (07)	(25,836)	(5,546)	(6,205)	(265)	(3,788)	(5,647)	(4,385)
	23,064	5,289	5,460	252	3,642	4,715	3,706
20 (08)	(23,400)	(5,171)	(4,726)	(217)	(4,414)	(5,172)	(3,699)
	20,865	4,904	4,079	175	4,260	4,380	3,067
21 (09)	(23,032)	(4,787)	(5,241)	(166)	(4,638)	(5,282)	(2,917)
	20,006	4,522	4,113	150	4,435	4,490	2,296

資料: 林野庁業務資料

注1: 民有林の樹種別人工造林面積であり、国有林は含まない。

2: 上段()書きは、育成複層林施業における樹下植栽等を含む面積である。

9 人工林の齢級別面積

(単位: 千ha)

	1 齢級	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
S60年 (1985)	604	895	1,263	1,691	1,762	1,569	947	337	240	205	178	137	111	83	148				
H元 (89)	436	700	943	1,351	1,691	1,746	1,413	777	270	224	183	151	118	93	79	52	62		
6 (94)	278	421	699	937	1,336	1,686	1,719	1,388	735	262	213	172	139	112	86	67	105		
13 (2001)	131	226	350	589	874	1,149	1,599	1,677	1,522	946	353	204	171	144	112	89	62	52	70
18 (06)	88	168	227	352	593	873	1,143	1,582	1,649	1,500	918	345	200	168	141	106	90	62	120

資料: 林野庁業務資料

注1: 数値は各年度末のものである。

2: 昭和60(1985)年は15齢級を、平成元(1989)年、6(1994)年は17齢級を、平成13(2001)年、18(2006)年は19齢級を最大齢級としており、それ以上の齢級は最大齢級にまとめている。

3: 森林法第5条及び第7条の2に基づく森林計画対象森林の「立木地」の面積。

森林の整備及び保全

10 間伐実績及び間伐材の利用状況

	間伐実績 (千ha)			間伐材利用量 (万m ³)					
	計	民有林	国有林	計	民有林			国有林	
				小計	製材	丸太	原材料		
H19 (2007) 年度	521	395	126	537	344	214	47	83	193
20 (08)	548	434	114	566	368	226	39	103	198
21 (09)	586	446	140	637	423	257	48	118	214

資料：林野庁業務資料

注1：間伐実績は、森林吸収源対策の実績として把握した数値である。

2：間伐材利用量は丸太材積に換算した量(推計値)である。

3：製材とは、建築材、梱包材等である。

4：丸太とは、足場丸太、支柱等である。

5：原材料とは、木材チップ、おがくず等である。

(参考)

		H2年度 (1990)	7 (95)	12 (2000)	14 (02)	15 (03)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	
民 有 林	間伐面積 (千ha)	277	215	304	314	312	277	281	282	
	間伐材利用量 (万m ³)	計	234	183	274	279	283	284	284	324
		製材	170	125	195	190	185	184	181	196
		丸太	37	34	41	44	50	45	41	48
	原材料	26	24	38	45	48	55	62	80	

資料：林野庁業務資料

注1：間伐材積は丸太材積に換算した量である。

2：製材とは、建築材、梱包材等である。

3：丸太とは、足場丸太、支柱等である。

4：原材料とは、木材チップ、おがくず等である。

11 林道開設(新設)量

(単位：km)

				H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
民 有 林 道	補 助 林 道	国 庫 補 助	一般林道	1,282	806	714	387	322	269	220	196
			道整備交付金	-	-	-	15	94	100	89	92
			農林総合研究所	19	4	3	1	1	0	0	-
			森林構造改善	59	55	39	13	17	8	-	-
			山村振興	279	109	54	6	-	-	-	-
			その他	24	5	8	1	2	0	1	-
				19	10	14	1	-	0	0	0
			小計	1,682	989	832	425	436	379	310	288
			県単独補助	201	292	199	76	73	49	42	26
			計	1,883	1,281	1,031	501	509	428	352	313
融 資 自 力	林 道	林道	2	2	0	0	0	-	-		
		道	18	48	57	12	16	8	5	4	
合計				1,903	1,331	1,088	513	525	435	357	317
国有林林道				610	230	99	138	130	123	109	135
総計				2,513	1,561	1,187	651	655	558	466	452
林道舗装実績				1,560	1,667	1,340	567	528	502	421	520

資料：林野庁業務資料

1：各年度末の新設延長。

2：計の不一致は四捨五入による。

3：独立行政法人森林総合研究所によるものは、平成20(2008)年4月1日までは、独立行政法人緑資源機構によるものである。

12 保安林の種類別面積

(単位：千ha)

区分	合計	国有林	民有林
水源涵養保安林	9,033	5,665	3,368
土砂流出防備保安林	2,525	1,069	1,455
土砂崩壊防備保安林	58	19	39
飛砂防備保安林	16	4	12
防風保安林	57	23	34
水害防備保安林	1	0	1
潮害防備保安林	14	5	8
干害防備保安林	123	50	73
防雪保安林	0	0	0
防霧保安林	62	9	53
なだれ防止保安林	19	5	14
落石防止保安林	2	0	2
防火保安林	0	0	0
魚つき保安林	58	8	50
航行目標保安林	1	1	0
保健保安林	699	356	343
風致保安林	28	13	15
合計	12,696	7,228	5,468
(実面積)	11,964	6,875	5,089

資料：林野庁業務資料

注1：平成22(2010)年3月31日現在の数値。

2：同一箇所で2種類以上の保安林に指定されている場合、それぞれの保安林に計上している。

3：国有林には、林野庁所管以外の国有林を含む。

4：計の不一致は四捨五入による。

13 気象災害、林野火災

		H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
気象災害	被害面積 (ha)	17,348	5,874	14,645	2,516	17,565	6,376	1,828	4,144
	風害	4,522	1,142	3,402	364	14,758	2,680	49	398
	水害	1,146	389	2,633	526	183	283	271	411
	雪害	4,272	1,757	1,863	920	2,451	2,400	494	875
	干害	6,969	2,234	6,161	656	104	800	216	2,621
	凍害	438	352	585	48	66	212	799	109
	潮・雹害	0	0	-	3	2	1	-	-
林野火災	出火件数 (件)	2,858	4,072	2,805	2,215	1,576	2,157	1,891	2,084
	焼損面積 (ha)	1,333	2,016	1,455	1,116	829	717	839	1,064
	被害額 (億円)	5	7	7	9	1	2	6	5

資料：林野庁業務資料、消防庁業務統計

注1：気象災害は、私・公有林の被害である。

2：林野火災は、私・公、国有林(林野庁所管外のものも含む。)の被害である。

14 森林国営保険事業実績

	年度末契約保有高			損害補填補償額			
	件数 (件)	面積 (千ha)	責任保険金額 (百万円)	件数 (件)	面積 (ha)	損害額 (百万円)	支払額 (百万円)
H 2 (1990)年度	102,107	1,078	947,544	4,645	1,076	800	590
7 (95)	121,028	1,044	917,143	9,024	2,984	2,000	1,681
12 (2000)	137,479	1,203	863,007	7,884	2,502	3,587	1,374
17 (05)	184,670	1,296	1,345,535	7,543	2,161	3,622	2,246
18 (06)	173,911	1,223	1,219,051	12,774	4,235	7,847	4,032
19 (07)	164,549	1,165	1,152,700	11,165	3,768	7,941	3,869
20 (08)	154,959	1,109	1,098,868	4,755	1,511	3,019	1,447
21 (09)	146,763	1,058	1,054,319	1,685	695	1,025	424

資料：林野庁業務資料

15 野生動物による森林被害

(単位：千ha)

	合計	サル	ノネズミ	ノウサギ	カモシカ	シカ	イノシシ	クマ
H 2 (1990)年度	7.5	0.0	1.0	1.7	2.0	2.4	0.2	0.2
7 (95)	8.6	0.2	0.5	1.2	1.8	4.1	0.5	0.3
12 (2000)	8.2	0.7	0.3	0.6	1.0	4.6	0.5	0.6
17 (05)	5.8	0.1	0.3	0.3	0.8	3.5	0.4	0.4
18 (06)	5.2	0.1	0.2	0.3	0.8	3.0	0.3	0.5
19 (07)	6.0	0.1	0.3	0.2	0.6	3.5	0.2	1.1
20 (08)	6.8	0.0	1.2	0.2	0.5	3.7	0.2	0.9
21 (09)	6.1	0.0	0.5	0.2	0.4	4.1	0.2	0.8

資料：林野庁業務資料

注1：国有林(林野庁所管)、民有林の合計。

2：林地内の被害。

16 松くい虫被害量(材積)

(単位：千m³)

	S52年度 (1977)	54 (79)	57 (82)	62 (87)	H4 (92)	9 (97)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
被害材積	809	2,433	1,467	1,140	1,126	811	689	644	619	626	594

資料：林野庁業務資料
注：国有林(林野庁所管)、民有林の合計。

17 ナラ枯れ被害量(材積)

(単位：千m³)

	H12年度 (2000)	13 (01)	14 (02)	15 (03)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
被害材積	32	19	78	51	71	92	59	116	133	230

資料：林野庁業務資料
注：国有林(林野庁所管)、民有林の合計。

18 森林・林業に関する専門技術者

(単位：人)

	H2年度 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	19 (07)	20 (08)	21 (09)	22 (10)
林業技士	6,069	7,168	8,024	9,322	9,872	10,504	10,944	11,341
森林インストラクター	—	425	1,132	2,261	2,573	2,709	2,818	2,926
樹木医	—	389	778	1,332	1,571	1,689	1,801	1,909

資料：林野庁業務資料、林業技士は社団法人日本森林技術協会調べ
注1：林業技士：森林土木等の技術的業務に関する専門知識の実践。平成22(2010)年度は、平成22(2010)年10月1日現在の数値。
2：森林インストラクター：一般の人々に、森林や林業に関する知識の提供、森林の案内、森林内の野外活動の指導等。平成22(2010)年度は、平成23(2011)年1月末現在の数値。
3：樹木医：「ふるさとのシンボル」として親しまれている巨樹・古木林等の保護や樹勢回復・治療等。平成21(2009)年度は、平成21(2009)年12月末現在の数値。

19 林業普及指導職員等の数

(単位：人)

	H2年度 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)	22 (10)
林業専門技術員(SP)	388	381	336	—	—	—	—	—	—
林業改良指導員(AG)	2,117	1,997	1,862	—	—	—	—	—	—
林業普及指導員	—	—	—	1,811	1,638	1,539	1,434	1,425	1,398
計	2,505	2,378	2,198	1,811	1,638	1,539	1,434	1,425	1,398

資料：林野庁業務資料
注：平成17(2005)年度の制度改正により、林業専門技術員と林業改良指導員の2つの資格を「林業普及指導員」に一元化している。

20 森林・林業関係の教育機関数

区分	学校数
森林・林業関係学科(科目)をもつ 高等学校	72
森林・林業関係学科(科目)をもつ 短期大学	1
森林・林業関係学科(科目)をもつ 大学(うち国立大学)	27 (23)
森林・林業関係学科(科目)をもつ 都道府県立農林大学校	5

資料：林野庁業務資料
注：平成22(2010)年4月現在の数値。

林業

21 所有形態別林野面積

	H22(2010)年	
	所有林野面積(ha)	比率(%)
総数	17,627,335	100.0
私有	13,590,186	77.1
公有	3,389,618	19.2
都道府県	1,242,080	7.0
森林整備法人	436,296	2.5
市区町村	1,404,452	8.0
財産区	306,790	1.7
独立行政法人等	647,531	3.7

資料：農林水産省「2010年世界農林業センサス」(概数値)
注1：計の不一致は四捨五入による。
2：独立行政法人等とは、独立行政法人、国立大学法人、特殊法人が所有しているものである。

22 林業経営体数及び保有山林面積

(単位：経営体、ha)

	合計		3ha未満		3～5ha		5～20ha		20～50ha		50～100ha		100ha以上	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
総数	139,997	5,173,928	(1,302) 1,340	1,649	40,973	149,088	69,170	638,308	17,854	508,963	4,883	320,201	4,475	3,555,720
法人経営	6,957	1,523,136	138	173	604	2,285	1,901	20,288	1,244	39,458	829	57,606	1,453	1,403,326
農事組合法人	197	32,851	2	1	29	108	74	757	28	891	29	2,082	33	29,012
会社	2,473	826,377	76	94	188	691	611	6,269	372	11,282	199	13,295	522	794,747
各種団体	3,151	503,279	57	71	182	701	773	8,870	666	21,635	498	34,987	730	437,014
農協	94	24,221	-	-	4	15	16	202	22	741	10	754	42	22,509
森林組合	2,280	297,430	54	68	82	317	464	5,541	476	15,620	404	28,404	575	247,479
その他の各種団体	777	181,628	3	4	96	369	293	3,127	168	5,273	84	5,829	113	167,026
その他の法人	1,136	160,629	3	7	205	785	443	4,392	178	5,651	103	7,242	168	142,553
法人でない経営	131,371	2,040,618	1,201	1,473	40,315	146,594	67,039	615,372	16,385	462,176	3,831	246,619	2,088	568,383
個人経営体	125,242	1,770,923	1,165	1,426	39,016	141,710	64,301	588,487	15,360	430,675	3,407	217,530	1,641	391,095
地方公共団体・財産区	1,669	1,610,174	1	2	54	208	230	2,648	225	7,329	223	15,976	934	1,584,011

資料：農林水産省「2010年世界農林業センサス」(概数値・組替集計)

注1：()は保有山林のない経営体数で内数。

2：林業経営体とは、保有山林3ha以上で、かつ2010年を計画期間に含む森林施業計画を作成している又は過去5年間に林業作業を行ったもの、若しくは委託を受けて育林・素材生産(過去1年間200m³以上)を行うもの並びに立木買いにより素材生産したものをいう。

23 林業経営体(林家)の林業経営

項目	単位	H16年	17	18	19	20	保有山林規模別(ha)			
		(2004)	(05)	(06)	(07)	(08)				
		平均	平均	平均	平均	平均	20-50	50-100	100-500	500-
林業粗収益	千円	2,497	2,396	2,603	1,904	1,784	1,225	1,098	3,218	30,302
立木販売収入	//	300	266	409	275	206	7	128	652	-
素材生産収入	//	1,786	1,667	1,635	1,246	1,041	703	666	1,972	13,284
その他	//	412	464	559	383	537	515	304	594	17,018
林業経営費	千円	2,081	2,109	2,125	1,613	1,681	938	1,191	2,959	28,131
雇用労賃	//	379	339	345	270	300	35	106	594	16,198
原木費	//	230	248	308	125	130	217	116	56	-
機械修繕費	//	201	208	209	117	169	155	134	229	1,577
賃借料・料金	//	202	195	194	174	150	148	96	238	1,528
請負わせ料金	//	613	707	626	539	557	149	459	1,303	688
その他	//	455	409	443	389	375	234	280	539	8,140
林業所得	千円	417	287	478	291	103	287	▲93	259	2,171
投下労働量	時間	943	924	632	571	536	509	379	756	6,447
家族	//	496	426	447	422	380	480	306	415	823
雇用労働	//	202	183	185	149	156	29	73	341	5,624
請負わせ作業	//	245	315

資料：農林水産省「林業経営統計調査報告」

注1：保有山林面積50ha以上で林木に係る施業を行っている林家、又は保有山林面積が20ha以上50ha未満で、過去1年間の林木に係る施業労働日数が30日以上の林業経営体(林家)1経営体(1戸)当たりの平均値。

2：林業粗収益＝現金収入＋林産物の林業外仕向額＋林産物の在庫増加(減少)額

3：林業粗収益のその他とは、特用林産物収入や受託収入等である。

4：林業経営費＝現金支出＋減価償却費＋処分差損益＋生産資材の在庫減少(増加)額

5：雇用労賃には、労働災害保険を含む。

6：林業経営費のその他とは、種苗費、肥料費、薬剤費、諸材料費、器具費、建物維持費、企画管理費、負債利子、租税公課諸負担等である。

7：林業所得＝林業粗収益－林業経営費

8：計の不一致は四捨五入による。

9：平成19(2007)年度・20(2008)年度の結果のうち、減価償却費については、平成19(2007)年度税制改正における減価償却計算の見直しを踏まえ以下のとおり算出した。

(1) 平成19(2007)年3月31日以前に取得した資産

ア 償却中の資産：1か年の減価償却費＝(取得価額－残存価額)÷耐用年数

イ 償却済みの資産：1か年の減価償却費＝(取得価額－1円(備忘価額))÷5年

(2) 平成19(2007)年4月1日以降に取得した資産

1か年の減価償却費＝(取得価額－1円(備忘価額))÷耐用年数

24 林業機械の普及台数

(単位：台)

		H2年度 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)	対前年増減 率(%)
高性能 林業機 械	フェラーパンチャ	35	51	42	25	33	48	60	69	15.0
	ハーベスタ	19	201	379	442	502	558	633	722	14.1
	プロセッサ	51	509	854	1,002	1,042	1,086	1,144	1,238	8.2
	スキッド	21	102	164	163	152	151	138	141	2.2
	フォワーダ	31	236	509	722	828	914	990	1,083	9.4
	タワーヤード	10	144	190	174	175	169	166	155	▲ 6.6
	スイングヤード	-	-	134	340	419	481	574	655	14.1
	その他の高性能林業機械	-	-	13	41	58	67	97	131	35.1
	小計	167	1,243	2,285	2,909	3,209	3,474	3,802	4,194	10.3
在来型 林業機 械	大型集材機	10,313	9,471	8,013	6,009	5,794	5,557	5,434	5,179	▲ 4.7
	小型集材機	10,065	8,907	7,525	5,460	5,240	4,871	4,713	4,454	▲ 5.5
	チェーンソー	362,492	340,672	300,300	245,998	233,064	228,069	222,731	216,953	▲ 2.6
	刈払機	369,677	356,669	350,765	298,718	286,295	272,909	260,564	246,616	▲ 5.4
	トラクタ	4,487	3,956	3,290	2,630	2,593	2,353	2,122	2,150	1.3
	運材車	25,676	25,303	22,238	18,083	15,765	15,290	14,840	14,440	▲ 2.7
	モノレール	1,836	1,551	981	859	907	821	817	782	▲ 4.3
	動力枝打機	9,043	12,133	12,695	10,077	9,440	8,803	8,475	7,867	▲ 7.2
	自走式搬器	1,235	1,752	1,991	1,757	1,710	1,719	1,635	1,600	▲ 2.1

資料：林野庁業務資料

注1：国有林野事業で所有する林業機械を除く。

2：平成7(1995)年度以前のタワーヤードの台数は、スイングヤード(油圧ショベルをベースマシンに集材用ウインチを搭載した機械)を含む。

3：平成12(2000)年度より、ハイブリッド機械、フェラースキッド、下刈機械等従来の高性能林業機械以外の高性能林業機械を「その他の高性能林業機械」として項目に追加した。

25 総人口及び就業者数

(単位：万人)

	総人口	就業者数				うち雇業者数				
		全産業 総数	農林業	うち 林業	非農林業	全産業 総数	農林業	うち 林業	非農林業	うち 製造業
7(95)	12,520	6,457	340	9	6,116	5,263	34	7	5,229	1,308
12(2000)	12,688	6,446	297	7	6,150	5,356	34	4	5,322	1,205
17(05)	12,766	6,356	259	6	6,097	5,393	36	4	5,356	1,059
18(06)	12,761	6,382	250	6	6,132	5,472	42	4	5,430	1,082
19(07)	12,776	6,412	251	5	6,161	5,523	45	4	5,478	1,091
20(08)	12,771	6,385	245	6	6,140	5,524	46	4	5,478	1,077
21(09)	12,757	6,282	242	6	6,040	5,460	50	4	5,410	1,015

資料：総務省「労働力調査年報」

注1：日本標準産業分類の改訂に伴い、平成15(2003)年以降の製造業の結果は14(2002)年以前の結果と時系列接続していない。

2：表章単位未満の位で四捨五入してある。また、総数に分類不能又は不詳の数を含むため、総数と内訳の合計とは必ずしも一致しない。

26 産業別、年齢階層別就業者数

(単位：万人)

	総数	15歳～ 19歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65歳 以上
全産業	6,282	84	436	601	670	748	689	644	628	688	530	565
農業	236	1	3	6	8	9	9	13	18	28	31	110
林業	6	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
鉱業	3	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	517	4	22	40	57	67	56	49	54	70	56	42
製造業	1,073	11	64	102	120	143	131	116	109	122	84	69
その他	4,447	68	347	453	485	529	493	466	446	467	358	343

資料：総務省「労働力調査」(平成21(2009)年)

注1：平成21(2009)年の平均値。

2：表章単位未満の位で四捨五入してある。また、総数に分類不能又は不詳の数を含むため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。

27 林業への新規就業者の就業先

(単位：人)

	H7年度 (1995)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
総数	1,555	2,314	2,843	2,421	3,053	3,353	3,964
民間事業体	433	864	1,149	1,176	1,610	1,758	2,033
森林組合	1,122	1,450	1,694	1,245	1,443	1,595	1,931

資料：林野庁業務資料

28 林業労働者の賃金

(単位：円/日)

	H2年度 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
造 林	8,812	11,082	12,082	11,708	11,795	11,834	11,828	11,743	11,738
伐 出	10,405	12,748	13,648	13,046	13,119	12,963	13,016	12,947	12,898

資料：全国農業会議所「農作業賃金・農業労働に関する調査結果」

注：全国農業会議所が作成した調査票に基づき、都道府県農業会議の指導の下、市町村農業委員会が行った調査であり、農外諸賃金のうち都道府県別平均の造林（新植、撫育作業）、伐出を抜粋したものである。

29 労働災害の発生率

		H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
死傷年千人率	全 産 業	4.6	3.5	2.8	2.5	2.4	2.4	2.3	2.3	2.0
	林 業	30.2	31.5	28.7	27.7	26.8	26.3	29.5	29.9	30.0
	木材・木製品製造業	17.4	13.4	11.6	10.1	9.9	9.3	9.2	8.3	7.2
	建設業	11.3	7.7	6.3	6.0	5.8	5.7	5.6	5.3	4.9
	製造業	5.5	4.0	3.6	3.4	3.3	3.2	3.2	3.0	2.5
	鉱 業	22.6	17.2	17.6	18.3	18.8	16.9	16.3	14.0	14.2

資料：林材業労災防止協会「林材業労働災害防止年報」

注：死傷年千人率とは、1,000人当たり1年間に発生する労働災害による死傷者数(休業4日以上)を表したもの。(死傷年千人率=1年間の死傷者数(休業4日以上)÷1年間の平均労働者数×1,000)

30 森林組合の事業活動等

		H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	対前年増減率 (%)
森 林 組 合 数 (A)		1,642	1,455	1,174	846	764	736	711	▲ 3.4
組 合 員 数 (千人)		1,751	1,718	1,669	1,618	1,601	1,594	1,575	▲ 1.2
1組合当たり払込済出資金(千円)		21,912	29,765	42,133	61,261	68,503	71,739	74,739	4.2
主 要 事 業 量	新 植 面 積 (ha)	45,417	35,183	25,648	18,818	17,341	18,560	18,748	1.0
	丸 太 生 産 量 (千 m ³)	3,282	3,088	2,835	2,818	3,004	3,287	3,467	5.5
作 業 班	設 置 組 合 数 (B)	1,284	1,148	939	737	-	-	-	-
	(B) ÷ (A) (%)	78	79	80	87	-	-	-	-

資料：林野庁「森林組合統計」

31 森林組合の主要事業別の取扱高

(単位：百万円)

	販売・林産	加 工	購 買	森林造成	そ の 他	合 計
H 2 (1990)年度	124,173	35,430	21,843	143,102	35,836	360,385
7 (95)	102,287	40,709	20,956	186,772	38,246	388,970
12 (2000)	77,555	40,441	16,434	167,376	40,325	342,131
16 (04)	60,357	36,587	13,235	124,644	43,414	278,237
17 (05)	57,190	34,290	12,221	111,287	40,685	255,673
18 (06)	63,546	33,981	11,955	106,499	38,886	254,866
19 (07)	67,063	34,680	11,619	115,207	37,092	265,660
20 (08)	65,666	33,979	11,525	111,705	38,767	261,642

資料：林野庁「森林組合統計」

34 木材需要(供給)量(丸太換算)

(単位:千m³)

	総需要 (供給)量	用材	薪炭材	しいたけ 原木	用材部門別				用材供給先別		用材 自給率(%)
					製材用	パルプ・ チップ用	合板用	その他用	国産材	外材	
S30(1955)年	65,206	45,278	19,928	...	30,295	8,285	2,297	4,401	42,794	2,484	94.5
35 (60)	71,467	56,547	14,920	...	37,789	10,189	3,178	5,391	49,006	7,541	86.7
40 (65)	76,798	70,530	6,268	...	47,084	14,335	5,187	3,924	50,375	20,155	71.4
45 (70)	106,601	102,679	2,348	1,574	62,009	24,887	13,059	2,724	46,241	56,438	45.0
50 (75)	99,303	96,369	1,132	1,802	55,341	27,298	11,173	2,557	34,577	61,792	35.9
55 (80)	112,211	108,964	1,200	2,047	56,713	35,868	12,840	3,543	34,557	74,407	31.7
60 (85)	95,447	92,901	572	1,974	44,539	32,915	11,217	4,230	33,074	59,827	35.6
H 2 (90)	113,242	111,162	517	1,563	53,887	41,344	14,546	1,385	29,369	81,793	26.4
7 (95)	113,698	111,922	721	1,055	50,384	44,922	14,314	2,302	22,916	89,006	20.5
12(2000)	101,006	99,263	940	803	40,946	42,186	13,825	2,306	18,022	81,241	18.2
17 (05)	87,423	85,857	1,001	565	32,901	37,608	12,586	2,763	17,176	68,681	20.0
18 (06)	88,306	86,791	979	535	33,032	36,907	13,720	3,131	17,617	69,174	20.3
19 (07)	83,879	82,361	976	542	30,455	37,124	11,260	3,522	18,626	63,735	22.6
20 (08)	79,518	77,965	1,005	548	27,152	37,856	10,269	2,688	18,731	59,234	24.0
21 (09)	64,799	63,210	1,047	543	23,513	29,006	8,163	2,528	17,587	45,622	27.8

資料: 林野庁「木材需給表」

注1: 需要(供給)量は、丸太の需要(供給)量と輸入した製材品、合板、パルプ・チップ等の製品を丸太材積に換算した需要(供給)量とを合計したもの。

2: その他は、構造用集成材・加工材・枕木・電柱・くい丸太・足場丸太等。

3: 用材自給率=国産材用材供給量÷総用材供給量×100

4: 計の不一致は四捨五入による。

35 国産材・外材別の木材需要(供給)量(丸太換算)

(単位:千m³)

		H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)	対前年増減率(%)	
総需要(供給)量		113,242	113,698	101,006	87,423	88,306	83,879	79,518	64,799	▲18.5	
用材		111,162	111,922	99,263	85,857	86,791	82,361	77,965	63,210	▲18.9	
薪炭材		517	721	940	1,001	979	976	1,005	1,047	4.2	
しいたけ原木		1,563	1,055	803	565	535	542	548	543	▲0.9	
用材部門別	総数	小計	111,162	111,922	99,263	85,857	86,791	82,361	77,965	63,210	▲18.9
		国産材	29,369	22,916	18,022	17,176	17,617	18,626	18,731	17,587	▲6.1
	外材	81,793	89,006	81,241	68,681	69,174	63,735	59,234	45,622	▲23.0	
	自給率(%)	26.4	20.5	18.2	20.0	20.3	22.6	24.0	27.8	3.8	
	製材用	小計	53,887	50,384	40,946	32,901	33,032	30,455	27,152	23,513	▲13.4
		国産材	18,023	16,252	12,798	11,571	11,645	11,981	11,110	10,243	▲7.8
	外材	35,864	34,132	28,148	21,330	21,387	18,474	16,042	13,270	▲17.3	
	自給率(%)	33.4	32.3	31.3	35.2	35.3	39.3	40.9	43.6	2.7	
	パルプ・チップ用	小計	(7,336)	(6,280)	(6,537)	(7,974)	(7,664)	(7,402)	(6,509)	(5,662)	▲13.0
		国産材	41,344	44,922	42,186	37,608	36,907	37,124	37,856	29,006	▲23.4
	外材	10,373	5,989	4,749	4,426	4,496	4,673	5,113	5,025	▲1.7	
	自給率(%)	30.971	38.933	37.437	33.181	32.412	32.451	32.743	23.981	▲26.8	
自給率(%)	25.1	13.3	11.3	11.8	12.2	12.6	13.5	17.3	3.8		
合板用	小計	14,546	14,314	13,825	12,586	13,720	11,260	10,269	8,163	▲20.5	
	国産材	354	228	138	863	1,144	1,632	2,137	1,979	▲7.4	
外材	14,192	14,086	13,687	11,723	12,576	9,628	8,132	6,184	▲24.0		
自給率(%)	2.4	1.6	1.0	6.9	8.3	14.5	20.8	24.2	3.4		
その他用	小計	1,385	2,302	2,306	2,763	3,131	3,522	2,688	2,528	▲6.0	
	国産材	619	447	337	316	332	340	370	340	▲8.1	
外材	766	1,855	1,969	2,447	2,799	3,182	2,317	2,188	▲5.6		
自給率(%)	44.7	19.4	14.6	11.4	10.6	9.7	13.8	13.4	▲0.4		

資料: 林野庁「木材需給表」

注1: 需要(供給)量は、丸太の需要(供給)量と輸入した製材品、合板、チップ・パルプ等の製品を丸太材積に換算した需要(供給)量とを合計したもの。

2: 自給率=国産材用材供給量÷総用材供給量×100

3: その他用は、構造用集成材・加工材・枕木・電柱・くい丸太・足場丸太等。

4: ()は、製材工場等の残材による木材チップで、外書。

5: 計の不一致は四捨五入による。

参考付表

36 我が国への産地別木材(用材)供給量(丸太換算)

(単位:千㎡、%)

		H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)	
材	米材	計	(35.0)	(34.2)	(28.9)	(18.8)	(19.0)	(17.3)	(17.9)	(18.2)
		米 国	38,862	38,261	28,700	16,129	16,501	14,221	13,948	11,493
		カナダ	27,479	23,273	14,460	6,844	6,747	6,318	6,291	5,163
			11,383	14,987	14,240	9,285	9,754	7,904	7,657	6,330
	南洋材	計	(18.4)	(14.7)	(13.7)	(12.2)	(12.2)	(10.3)	(9.8)	(9.6)
		マレーシア	20,475	16,418	13,569	10,511	10,606	8,517	7,632	6,041
		インドネシア	13,389	7,601	6,690	5,888	6,590	5,285	4,959	3,755
		その他	5,618	6,334	5,858	4,137	3,556	2,777	2,419	2,079
		その他	1,468	2,482	1,021	486	460	455	253	207
	北洋材	ロシア	(6.0)	(6.4)	(7.5)	(8.6)	(8.9)	(8.1)	(4.9)	(3.9)
			6,661	7,131	7,429	7,411	7,705	6,712	3,795	2,449
	欧州材	ヨーロッパ州	(0.5)	(2.2)	(4.7)	(6.9)	(7.5)	(6.9)	(5.5)	(6.9)
			606	2,411	4,675	5,937	6,480	5,668	4,324	4,391
	その他の外材	ニュージーランド	(3.0)	(3.8)	(4.4)	(3.4)	(3.0)	(3.5)	(3.8)	(3.3)
		3,286	4,263	4,374	2,878	2,644	2,851	2,975	2,086	
チリ		(3.2)	(4.7)	(3.8)	(4.6)	(4.6)	(5.5)	(6.5)	(6.9)	
		3,553	5,311	3,795	3,952	4,010	4,498	5,049	4,389	
オーストラリア		(4.4)	(6.6)	(8.7)	(10.2)	(10.3)	(12.1)	(12.8)	(10.6)	
		4,889	7,428	8,604	8,729	8,908	9,933	9,986	6,674	
中国		(0.6)	(1.8)	(2.5)	(3.0)	(3.3)	(2.6)	(2.8)	(2.6)	
	617	2,061	2,445	2,544	2,897	2,121	2,156	1,647		
	その他	(2.6)	(5.1)	(7.7)	(12.3)	(10.9)	(11.2)	(12.0)	(10.2)	
		2,844	5,721	7,651	10,591	9,422	9,215	9,370	6,451	
	計	(73.6)	(79.5)	(81.8)	(80.0)	(79.7)	(77.4)	(76.0)	(72.2)	
		81,793	89,006	81,241	68,681	69,174	63,735	59,234	45,622	
国産材		(26.4)	(20.5)	(18.2)	(20.0)	(20.3)	(22.6)	(24.0)	(27.8)	
		29,369	22,916	18,022	17,176	17,617	18,626	18,731	17,587	
合計		(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	
		111,162	111,922	99,263	85,857	86,791	82,361	77,965	63,210	

資料:財務省「貿易統計」、林野庁「木材需給表」

注1:この表の数値は、国産丸太及び輸入丸太の供給量に、丸太材積に換算した輸入製材品、パルプ・チップ、合板等の値を加えて、各国別の供給量を算出したもの。

2:南洋材のその他とは、フィリピン、シンガポール、ブルネイ、パプア・ニューギニア、ソロモン諸島からの輸入である。

3:欧州材のヨーロッパ州とは、ロシアを除くヨーロッパ各国からの輸入である。

4:その他の外材のその他とは、アフリカ諸国等からの輸入である。

5:計の不一致は四捨五入による。

6:()は、合計に占める割合。

37 我が国への製材用木材供給量(丸太換算)

(単位:千㎡)

産地・国		H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)	
輸入製材品	米材	計	8,964	10,749	8,233	5,187	5,363	4,262	4,572	3,529
		米 国	3,896	2,765	1,112	268	241	314	419	452
		カナダ	5,068	7,984	7,121	4,919	5,122	3,948	4,153	3,077
	南洋材	計	1,820	1,650	1,289	579	487	414	298	214
		マレーシア	1,032	934	651	311	321	295	230	157
		インドネシア	612	654	622	259	150	101	56	48
		その他	176	62	16	9	17	18	11	9
	北洋材	ロシア	368	585	878	1,695	1,657	1,599	1,125	1,146
	欧州材	ヨーロッパ州	6	1,171	3,448	4,528	4,757	4,149	3,165	3,194
	その他の外材	ニュージーランド	286	398	433	273	281	264	267	125
		チリ	572	750	778	660	581	634	635	344
		その他	581	679	854	384	337	327	258	246
	輸入製材品計		12,598	15,982	15,913	13,305	13,464	11,649	10,319	8,799
	輸入製材用丸太	米材	15,696	11,737	7,311	4,927	4,962	4,337
南洋材		2,529	1,144	425	237	181	147	
北洋材		3,685	3,775	3,259	1,938	1,855	1,486	
ニュージーランド材		1,126	1,162	1,058	744	797	725	
その他の		230	332	182	179	142	130	
輸入製材用丸太計		23,266	18,150	12,235	8,025	7,937	6,825	5,723	4,471	
国産材製材用丸太		18,023	16,252	12,798	11,571	11,645	11,981	11,110	10,243	
合計		53,887	50,384	40,946	32,901	33,046	30,455	27,152	23,513	

資料:財務省「貿易統計」、農林水産省「木材需給報告書」(平成19(2007)年以前)、「平成20年木材統計」(平成20(2008)年)、「平成21年木材統計、平成21(2009)年」、林野庁「木材需給表」

注1:輸入製材品の値は、丸太材積に換算したもの。

2:輸入製材用丸太及び国産材製材用丸太は、製材工場に入荷する時点をとらえた調査であり、「木材需給報告書」の値。

3:南洋材のその他とは、フィリピン、シンガポール、ブルネイ、パプア・ニューギニア、ソロモン諸島からの輸入である。

4:欧州材のヨーロッパ州とは、ロシアを除くヨーロッパ各国からの輸入である。

5:その他の外材のその他とは、中国、オーストラリア、アフリカ諸国等からの輸入である。

6:計の不一致は四捨五入による。

38 木材の主な品目別輸入量

(単位：千㎡(平成2(1990)年の合板は千㎡))

		H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	19 (07)	20 (08)	21 (09)	22 (10)
丸 太	総数	28,999	21,944	15,948	10,654	8,973	6,228	4,130	4,757
	米材	10,857	7,275	4,786	3,453	2,973	2,745	2,430	2,980
	南洋材	11,199	6,001	3,032	1,409	1,054	721	438	554
	北洋材	4,865	5,413	5,605	4,689	4,039	1,867	693	447
	ニュージーランド材	1,343	1,866	1,843	922	813	842	521	737
	チリ材	413	123	110	106	15	0	0	—
	欧州材	9	517	70	36	42	41	35	30
	アフリカ材	126	525	231	12	11	5	5	3
	中国	82	97	43	9	7	5	6	5
	その他	104	127	230	18	19	2	1	2
製 材 品	総数	8,889	11,356	9,951	8,395	7,354	6,522	5,569	6,415
	米材	6,461	7,772	5,223	3,293	2,705	2,904	2,241	2,709
	南洋材	1,141	1,041	721	319	228	164	118	119
	北洋材	267	425	559	1,078	1,017	715	730	747
	ニュージーランド材	208	289	276	174	168	170	79	124
	チリ材	415	544	496	420	404	404	219	289
	欧州材	4	846	2,189	2,878	2,637	2,010	2,032	2,264
	アフリカ材	3	5	4	1	2	1	5	2
	中国	88	293	375	155	146	117	115	104
	その他	303	140	109	77	48	36	29	56
合 板	総数	411,964	4,262	4,609	4,118	3,430	3,063	2,460	2,654
	米材	6,548	287	186	32	36	7	5	5
	南洋材	404,443	3,883	4,280	3,795	3,043	2,749	2,259	2,300
	その他	973	92	142	291	351	307	196	348

資料：財務省「貿易統計」

注1：合板は集成材等の積層木材を含まない。

2：「南洋材」はフィリピン、インドネシア、マレーシア、パプア・ニューギニア、シンガポール、ソロモン諸島、ブルネイの7か国より輸入された材。

3：「欧州材」は、ロシアを除くヨーロッパ各国より輸入された材。

4：計の不一致は四捨五入による。

39 近年の丸太価格

(単位：円/㎡)

年・月	国産材			米材		北洋材	
	スギ中丸太	ヒノキ中丸太	カラマツ中丸太	ベイツガ丸太	ペイマツ丸太	北洋カラマツ丸太 (合単板用)	北洋エゾマツ丸太
	径 14~22cm 長 3.65~4.0m	径 14~22cm 長 3.65~4.0m	径 14~28cm 長 3.65~4.0m	径 30cm上 長 6.0m上	径 30cm上 長 6.0m上	径 20cm上 長 4.0m上	径 20~28cm 長 3.8m上
H17 (2005)年	12,400	25,200	9,100	23,500	27,000	13,400	16,700
18 (06)	12,700	26,300	9,200	24,200	28,500	16,300	18,300
19 (07)	13,000	25,400	10,100	26,500	30,100	21,100	22,600
20 (08)	12,200	23,600	10,500	27,300	30,500	21,400	23,000
21 (09)	10,900	21,300	10,100	23,500	27,400	17,600	24,400
22 (10)	11,800	21,600	10,600	24,200	25,900	18,000	24,000
22年1月	11,300	21,700	10,300	22,900	26,200	17,300	23,800
2月	11,600	22,100	10,400	23,300	25,500	17,700	23,800
3月	11,600	21,700	10,400	24,000	25,700	18,300	23,800
4月	11,900	21,500	10,400	24,400	26,200	18,600	23,700
5月	12,000	21,500	10,400	24,400	26,200	18,700	23,700
6月	11,600	20,900	10,500	24,600	26,500	18,000	24,100
7月	11,500	21,100	10,500	24,700	26,500	18,100	24,200
8月	11,400	21,200	10,700	24,800	26,200	18,000	23,900
9月	11,700	21,300	10,900	24,900	25,800	18,000	23,900
10月	11,900	21,900	10,900	24,200	25,400	17,800	24,100
11月	12,200	21,900	11,000	24,400	25,400	17,800	24,100
12月	12,300	22,100	10,900	24,300	25,400	18,100	24,300

資料：農林水産省「木材価格」

注1：価格は、各工場における工場着購入価格。

2：スギ中丸太からベイツガ丸太までの平成17(2005)年以降及びペイマツ丸太、北洋カラマツ丸太、北洋エゾマツ丸太の平成19(2007)年以降は、平成17(2005)年の推定消費量による加重平均値であり、それ以外は、平成12(2000)年の推定消費量による加重平均値。

3：ペイマツ丸太、北洋カラマツ丸太、北洋エゾマツ丸太については、平成19(2007)年1月から調査対象都道府県を変更したことにより過年度価格の遡及ができないことから、平成18(2006)年以前については平成12(2000)年の推定消費量を基に算出された価格を参考として載せている。

参考
付
表

40 近年の製材品価格

(単位：円/㎡、合板は円/枚)

年・月	国産材				米材		針葉樹合板 厚 1.2cm 幅 91.0cm 長 1.82m 1類
	スギ正角 厚 10.5cm 幅 10.5cm 長 3.0m 2級	スギ正角 (乾燥材) 厚 10.5cm 幅 10.5cm 長 3.0m 2級	ヒノキ正角 厚 10.5cm 幅 10.5cm 長 3.0m 2級	ヒノキ正角 (乾燥材) 厚 10.5cm 幅 10.5cm 長 3.0m 2級	ベイツガ正角 (防腐処理材) 厚 12.0cm 幅 12.0cm 長 4.0m 2級	ペイマツ平角 厚 10.5~12cm 幅 24.0cm 長 3.65~4.0m 2級	
H17 (2005)年	40,700	56,200	66,300	80,300	59,700	52,100	960
18 (06)	40,500	56,400	66,000	79,800	61,100	56,500	1,070
19 (07)	42,700	60,800	69,700	86,500	64,300	55,800	1,360
20 (08)	42,400	61,500	67,900	83,400	67,900	56,100	990
21 (09)	41,700	59,700	66,300	79,900	66,800	54,800	860
22 (10)	41,600	60,100	64,900	80,200	66,100	54,300	910
22年1月	41,300	59,100	64,900	79,400	66,500	54,400	830
2月	41,400	59,100	65,000	79,700	66,200	54,300	830
3月	41,400	59,100	65,000	79,700	66,100	54,300	840
4月	41,300	59,300	65,000	79,700	66,100	54,300	870
5月	41,400	59,400	65,000	79,700	66,100	54,300	910
6月	41,500	59,500	64,900	79,700	66,100	54,300	940
7月	41,500	59,500	64,900	79,700	66,100	54,300	960
8月	41,500	60,200	64,700	80,600	66,100	54,400	960
9月	41,500	60,800	64,700	80,600	66,200	54,300	950
10月	41,500	60,900	64,800	80,600	66,200	54,300	950
11月	41,800	61,200	65,000	81,100	66,100	54,300	950
12月	42,700	63,000	65,400	82,300	65,800	54,300	950

資料：農林水産省「木材価格」

注1：価格は、小売業者への店頭渡し販売価格。

2：スギ正角、スギ正角(乾燥材)、ヒノキ正角、針葉樹合板の平成17(2005)年以降及びヒノキ正角(乾燥材)、ベイツガ正角(防腐処理材)、ペイマツ平角の平成19(2007)年以降は、平成17(2005)年の推定消費量による加重平均値であり、それ以外は、平成12(2000)年の推定消費量による加重平均値。

3：ヒノキ正角(乾燥材)、ベイツガ正角(防腐処理材)、ペイマツ平角については、平成19(2007)年1月から調査対象都道府県を変更したことにより過年度価格の遡及ができないことから、平成18(2006)年以前は平成12(2000)年の推定消費量を基に算出された価格を参考として載せている。

41 山元立木価格、丸太価格、製材品価格、山林素地価格

(単位：円/㎡)

	山元立木価格			丸太価格			製材品価格			全国平均用材 林地価格 (10a当たり)
	スギ	ヒノキ	マツ	スギ中丸太 径14~22cm 長3.65~4.0m	ヒノキ中丸太 径14~22cm 長3.65~4.0m	ベイツガ丸太 径30cm上 長6.0m上	スギ正角 厚10.5cm 幅10.5cm 長3.0m	ヒノキ正角 厚10.5cm 幅10.5cm 長3.0m	ベイツガ正角 厚10.5cm 幅10.5cm 長3.0m	
S30(1955)年	4,478	5,046	2,976	8,200	9,100	...	13,400	20,000	...	8,927
35 (60)	7,148	7,996	4,600	11,000	11,700	...	16,900	25,400	...	16,005
40 (65)	9,380	10,645	5,743	14,000	17,600	12,800	21,700	34,100	...	20,586
45 (70)	13,168	21,352	7,677	18,400	36,600	14,600	33,600	77,000	...	32,705
50 (75)	19,726	35,894	10,899	31,000	64,500	24,400	57,900	118,000	40,200	64,797
55 (80)	22,707	42,947	11,162	38,700	74,400	34,500	68,900	140,900	58,200	85,990
60 (85)	15,156	30,991	7,920	24,900	52,600	25,000	50,000	88,000	45,900	86,820
H 2 (90)	14,595	33,607	7,528	26,000	66,000	26,000	58,400	115,400	55,800	83,038
7 (95)	11,730	27,607	5,966	21,700	52,200	26,200	55,500	100,100	57,100	75,633
12(2000)	7,794	19,297	4,168	17,200	39,300	22,600	46,300	75,400	50,100	68,659
17 (05)	3,628	11,988	2,037	12,400	25,200	23,500	40,700	66,300	51,200	59,991
18 (06)	3,332	11,024	1,862	12,700	26,300	24,200	40,500	66,000	52,900	58,696
19 (07)	3,369	10,508	1,728	13,300	25,400	26,500	42,700	69,700	...	56,993
20 (08)	3,164	9,432	1,638	12,200	23,600	27,300	42,400	67,900	...	55,118
21 (09)	2,548	7,850	1,466	10,900	21,300	23,500	41,700	66,300	...	52,747
22 (10)	2,654	8,128	1,496	11,800	21,600	24,200	41,600	64,900	...	50,899

資料：財団法人日本不動産研究所「山林素地及び山元立木価格調」、農林水産省「木材需給累年報告書(平成7(2005)年9月)」、「昭和30(1955)~平成2(1990)年」、「木材需給報告書」(平成7(1995)~18(2006)年)、「木材価格」(平成19(2007)~22(2010)年)

注1：山元立木価格は、利用材積1㎡当たり平均価格(各年3月末現在)。

2：丸太価格は、各工場における工場着購入価格。

3：製材品価格は、小売業者への店頭渡し販売価格。

4：丸太及び製材品価格の平成17(2005)年以降は、平成17(2005)年の推定消費量による加重平均値。

5：製材品価格のうちベイツガ正角については、平成19(2007)年に、統計の調査品目から削除された。

42 特用林産物の生産量及び生産額

		単位	H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)	対前年 増減率(%)
食 用	乾しいたけ	トン	11,238	8,070	5,236	4,091	3,861	3,566	3,867	3,597	▲ 7.0
		百万円	42,614	24,630	13,106	13,484	14,359	16,207	19,422	16,098	▲ 17.1
	生しいたけ	トン	79,134	74,495	67,224	65,186	66,349	67,155	70,342	75,016	6.6
		百万円	96,464	80,306	69,375	68,837	73,514	75,348	78,009	75,466	▲ 3.3
	なめこ	トン	22,083	22,858	24,942	24,801	25,615	25,818	25,945	26,138	0.7
		百万円	15,127	14,218	11,848	9,375	10,681	10,146	10,560	10,142	▲ 4.0
	えのきたけ	トン	92,255	105,752	109,510	114,542	114,630	129,770	131,107	138,501	5.6
		百万円	53,047	48,434	38,438	30,583	36,223	37,244	39,463	34,348	▲ 13.0
	ひらたけ	トン	33,475	17,166	8,546	4,074	3,384	3,024	2,578	2,424	▲ 5.9
		百万円	25,508	9,493	3,718	1,552	1,347	1,197	1,173	1,079	▲ 8.0
ぶなしめじ	トン	29,757	59,760	82,414	99,787	103,249	108,996	108,104	110,741	2.4	
	百万円	22,675	40,756	44,586	42,310	48,837	50,683	57,620	57,917	0.5	
まいたけ	トン	7,712	22,757	38,998	45,111	45,985	43,607	43,398	40,998	▲ 5.5	
	百万円	8,051	19,002	29,833	27,969	27,959	27,080	29,207	27,838	▲ 4.7	
く　　り	トン	30,081	22,851	17,488	12,370	14,048	12,938	14,172	11,907	▲ 16.0	
	百万円	12,123	9,597	6,873	5,208	5,914	5,162	5,088	5,513	8.4	
そ　　他	百万円	93,920	69,139	58,613	59,313	62,843	46,718	51,579	49,241	▲ 4.5	
計	百万円	369,529	315,575	276,390	258,631	281,677	269,785	292,121	277,642	▲ 5.0	
非 食 用	生うるし	kg	4,802	3,427	1,808	1,340	1,326	1,378	1,586	1,924	21.3
		百万円	212	152	68	48	48	57	78	92	18.4
	竹　　材	千束	6,822	3,941	2,008	1,290	1,191	1,143	1,043	995	▲ 4.6
		百万円	6,528	4,038	1,994	1,181	1,071	991	864	816	▲ 5.6
	桐　　材	m ³	13,691	7,888	3,213	1,757	1,502	1,414	1,284	1,037	▲ 19.3
		百万円	1,213	673	261	141	120	113	103	83	▲ 19.2
	木　　炭 (竹炭を含む)	トン	35,399	69,896	56,456	35,029	32,671	30,100	27,889	25,873	▲ 7.2
百万円		4,916	9,345	6,556	5,356	5,036	4,811	4,284	3,583	▲ 16.4	
そ　　他	百万円	2,173	11,271	11,781	11,523	7,889	4,039	5,172	6,903	33.5	
計	百万円	15,042	25,479	20,660	18,249	14,164	10,011	10,501	11,477	9.3	
合　　計	百万円	384,571	341,054	297,050	276,880	295,841	279,796	302,623	289,119	▲ 4.5	

資料：林野庁業務資料

木材産業等

43 製材工場数及び従業者数

		単位	H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
製材工場数		工場	16,811	14,565	11,692	9,011	8,482	7,905	7,378	6,865
7.5～22.5kW未満 22.5～37.5 37.5～75.0 75.0～150.0 150.0～300.0 300.0kW以上	7.5～22.5kW未満	工場	2,106	1,394	1,137	899	862	823	790	799
	22.5～37.5	工場	3,791	3,317	2,635	1,919	1,814	1,660	1,501	1,413
	37.5～75.0	工場	6,203	5,472	4,406	3,371	3,111	2,861	2,628	2,309
	75.0～150.0	工場	2,853	2,596	1,991	1,552	1,461	1,372	1,309	1,241
	150.0～300.0	工場	1,325	1,233	980	782	754	706	681	649
	300.0kW以上	工場	533	553	543	488	480	483	469	454
従業者数		人	124,195	104,197	73,625	49,159	45,389	42,127	38,260	34,970

資料：農林水産省「木材需給報告書」(平成2(1990)～19(2007)年)、「平成20年木材統計」(平成20(2008)年)、「平成21年木材統計」(平成21(2009)年)
注：工場数は、12月31日現在の工場数(3か月未満休業中のものを含む)であり、製材用動力の出力数が7.5kW未満の工場を除く。

44 用途別製材品出荷量

(単位：千m³)

	H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
建　　築　　用　　材	23,477	19,871	13,813	10,507	10,207	9,455	8,836	7,671
土　　木　　建　　設　　用　　材	1,090	977	698	479	515	468	418	357
木箱仕組板・梱包用材	2,943	2,311	1,862	1,400	1,391	1,321	1,254	987
家具・建具用材	1,437	807	368	150	117	94	78	72
そ　　他　　用　　材	1,065	800	490	289	324	294	298	204
計	30,012	24,766	17,231	12,825	12,554	11,632	10,884	9,291
うち人工乾燥材	…	…	…	2,116	2,319	2,293	2,348	2,280

資料：農林水産省「木材需給報告書」(平成2(1990)～19(2007)年)、「平成20年木材統計」(平成20(2008)年)、「平成21年木材統計」(平成21(2009)年)
注：出力7.5kW以上の製材工場の数値。

45 国産材・外材別製材工場数及び製材用素材入荷量

(単位：工場、千㎡)

	計		国産材のみ		国産材と外材		外材のみ	
	工場数	入荷量	工場数	入荷量	工場数	入荷量	工場数	入荷量
H 2(1990)年	16,793	43,526	6,455	11,415	7,744	15,271	2,594	16,840
7 (95)	14,554	36,670	6,049	11,296	6,292	11,483	2,213	13,891
12(2000)	11,633	26,526	5,444	9,663	4,614	6,775	1,575	10,088
17 (05)	8,955	20,540	4,978	9,704	3,017	3,839	960	6,997
18 (06)	8,433	20,342	4,897	9,684	2,670	3,973	866	6,685
19 (07)	7,838	19,448	4,723	10,275	2,388	3,351	727	5,822
20 (08)	7,330	17,568	4,661	9,622	2,075	2,962	594	4,984
21 (09)	6,801	15,279	4,543	9,025	1,717	3,190	541	3,064

資料：農林水産省「木材需給報告書」(平成2(1990)～19(2007)年)、「平成20年木材統計」(平成20(2008)年)、「平成21年木材統計」(平成21(2009)年)
注：工場数は素材の入荷があった工場で、かつ製材用動力の出力数が7.5kw以上の製材工場を対象とした。

46 合板工場数及び生産量、従業者数

	単位	H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)	
合 単 板 工 場 数	工場	522	455	354	271	263	248	233	208	
生 産 量	普通合板生産量 (//)	千㎡	997,693	655,799	3,218	3,212	3,314	3,073	2,586	2,287
	うち針葉樹合板	千㎡	2,249	2,484	2,424	2,156	1,928
	特殊合板生産量 (//)	千㎡			1,534	1,037	1,102	924	825	636
		(千㎡)	372,326	340,687						
従 業 者 数	人	29,476	24,006	16,795	11,877	11,414	11,144	10,040	8,921	

資料：農林水産省「木材需給報告書」(平成2(1990)～19(2007)年)、「平成20年木材統計」(平成20(2008)年)、「平成21年木材統計」(平成21(2009)年)
注1：工場数は、12月31日現在の工場数(3か月未満休業中のものを含む)。
注2：平成19(2007)年の単板製造用素材入荷量は、月別合板統計の1月～12月までの入荷量を集計した数値。

47 合板用素材の入荷量

(単位：千㎡)

	H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)	
入 荷 量 合 計	9,839	7,321	5,401	4,636	5,183	5,227	3,986	3,107	
国 産 材	小 計	354	228	138	863	1,144	1,632	2,137	1,979
	針 葉 樹	17	44	60	833	1,126	1,619	2,103	1,972
	す ぎ	0	1	0	542	803	1,061	1,297	1,176
	か ら ま つ	3	40	51	210	217	386	592	607
	広 葉 樹	337	184	78	30	18	13	34	7
外 材	小 計	9,485	7,093	5,263	3,773	4,039	3,595	1,849	1,128
	針 葉 樹	2,624	2,980	2,699
	南 洋 材	9,129	5,502	2,597	1,108	1,018	846	535	399
	ラ ワ ン 材	7,985	4,416	1,738	800	812	748	490	384
	米 材	63	102	29	13	26	48	135	194
	北 洋 材	181	928	1,893	2,506	2,897	2,655	1,123	443
	ニュージーランド材	103	388	603	124	83	35	33	64
そ の 他	9	173	141	22	15	11	23	28	

資料：農林水産省「木材需給報告書」(平成2(1990)～19(2007)年)、「平成20年木材統計」(平成20(2008)年)、「平成21年木材統計」(平成21(2009)年)

48 集成材製造業の企業数及び従業員数

	単位	H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
集 成 材 企 業 数	工場	274	293	281	263	259	234	225	199	187
従 業 員 数	人	7,550	8,110	7,160	6,810	6,796	6,864	6,795	6,442	5,392

資料：日本集成材工業協同組合

49 集成材の生産量及び輸入量

(単位：千㎡)

	国内生産量								輸入量		
	造作用			構造用					合計	集成材	グルーラム
	化粧ばり	無化粧	計	化粧ばり	小断面	中断面	大断面	計			
H2(1990)年	195	129	323	89	9	16	12	127	450	86	271
7(95)	232	142	374	97	44	37	30	208	582	43	148
12(2000)	163	106	270	71	326	189	36	622	892	106	445
16(04)	126	86	212	36	607	582	52	1,276	1,488	182	611
17(05)	119	83	202	28	646	594	41	1,310	1,512	162	671
18(06)	111	75	186	23	646	791	30	1,490	1,675	165	806
19(07)	100	74	174	14	519	619	19	1,172	1,346	172	642
20(08)	93	76	169	9	539	560	17	1,124	1,293	130	404
21(09)	80	71	151	6	495	576	22	1,099	1,249	102	457

資料：財務省「貿易統計」、日本集成材工業協同組合調べ
注：計の不一致は四捨五入による。

50 木材チップ工場数及び従業者数

	単位	H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
チップ工場数	工場	4,494	3,535	2,657	2,040	1,971	1,857	1,744	1,663
従業者数	人	9,422	6,614	4,872	3,889	3,619	3,426	3,034	2,847

資料：農林水産省「木材需給報告書」(平成2(1990)～19(2007)年)、「平成20年木材統計」(平成20(2008)年)、「平成21年木材統計」(平成21(2009)年)
注：工場数は、12月31日現在の工場数(3か月未満休業中のものを含む)。

51 木材チップ生産量

(単位：千m³(～平成12(2000)年)、千トン(平成17(2005)年～))

		H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
木材チップ生産量		16,640	11,226	10,851	6,005	5,899	5,894	5,797	5,129
原材料別	素材(原木)	9,237	4,928	4,282	2,235	2,276	2,368	2,676	2,398
	工場残材	7,072	5,860	5,130	2,188	2,275	2,182	1,913	1,689
	林地残材	67	18	32	67	66	100	104	108
解体材・廃材		264	420	1,407	1,515	1,282	1,244	1,104	934
樹種別	針葉樹	7,409	6,790	7,395	2,952	3,004	3,087	2,918	2,598
	広葉樹	9,231	4,436	3,456	1,538	1,613	1,563	1,775	1,597

資料：農林水産省「木材需給報告書」(平成2(1990)～19(2007)年)、「平成20年木材統計」(平成20(2008)年)、「平成21年木材統計」(平成21(2009)年)

52 プレカット工場数とシェア

	H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
プレカット工場数	483	784	877	871	837	847	848	830	795
木造軸組工法住宅のうち プレカットのシェア(%)	8	32	52	76	79	81	84	84	86

資料：全国木造住宅機械プレカット協会

53 木材市売市場・木材センター数及び取扱量

(単位：千㎡(m))

		S55年 (1980)	59 (84)	H3 (91)	13 (2001)	18 (06)	
事業所数	計	645	613	624	567	516	
	木材市売市場	576	556	574	523	-	
	木材センター	69	57	50	44	-	
木材市売市場・ 木材センター	素材流通業者	事業所数	509	482	480	425	-
		素材仕入量 1事業所当たり取扱量	8,622 (16,939)	8,785 (18,226)	9,128 (19,017)	8,907 (20,958)	9,039 -
	製品流通業者	事業所数	346	315	309	274	-
		製品販売量 1事業所当たり取扱量	8,224 (23,769)	6,951 (22,067)	7,600 (24,595)	5,092 (18,584)	4,288 -

資料：農林水産省「木材流通構造調査報告書」

注1：木材市売市場とは、市売買(定められた日に、売り手と買い手が「せり」又は「入札」によって売買価格を決定する方法)と称される売買方式によって木材の売買を行わせる事業所をいう。

2：木材センターとは、二つ以上の売り手を同一の場所に集め、買手を対象として相対取引によって木材の売買を行わせる事業所をいう。

3：事業所数の内訳(木材市売市場及び木材センター)は平成18(2006)年の統計調査項目から削除された。

4：木材市売市場・木材センターの各項目中の事業所数は平成18(2006)年の統計調査項目から削除された。

54 木材販売業者数及び取扱量

(単位：千㎡ (㎡))

		S55年 (1980)	59 (84)	H3 (91)	13 (2001)	18 (06)	
事業所数	計	18,147	17,085	15,584	10,578	9,430	
	卸	4,830	4,887	4,693	-	-	
	小売	13,317	12,198	10,891	-	-	
木材販売業者	総数	事業所数	14,702	13,998	13,198	9,695	-
		製材品販売量	33,384	31,051	35,530	21,225	18,069
		1事業所当たり取扱量	(2,271)	(2,218)	(2,692)	(2,189)	-
	国産材	事業所数	13,400	12,792	11,762	8,852	-
		製材品販売量	9,881	10,970	10,188	6,340	6,822
		1事業所当たり取扱量	(737)	(858)	(866)	(716)	-
外材	事業所数	13,357	12,485	11,616	8,442	-	
	製材品販売量	23,503	20,081	25,342	14,886	11,248	
	1事業所当たり取扱量	(1,760)	(1,608)	(2,182)	(1,763)	-	

資料：農林水産省「木材流通構造調査報告書」

注1：木材販売業者とは、木材を購入して販売する事業所をいう。

2：事業所数の内訳(卸売及び小売)は平成13(2001)年の統計調査項目から削除された。

3：木材販売業者の各項目の中の事業所数は平成18(2006)年の統計調査項目から削除された。

55 新設住宅着工戸数及び床面積

		H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)	22 (10)	対前年増減率 (%)	
新設住宅着工戸数 (戸)	総数	1,707,109	1,470,330	1,229,843	1,236,175	1,290,391	1,060,741	1,093,519	788,410	813,126	3.1	
	資金別	民間資金	1,201,936	837,959	752,205	1,044,946	1,146,888	960,938	984,426	690,058	690,736	0.1
		公的資金	505,173	632,371	477,638	191,229	143,503	99,803	109,093	98,352	122,390	24.4
	利用関係別	持家	486,527	537,680	451,522	353,267	358,519	314,865	318,511	284,631	305,221	7.2
		分譲住宅	379,600	352,651	345,291	369,067	379,181	294,777	300,021	168,836	201,888	19.6
		貸家	806,097	553,946	421,332	504,294	543,463	441,733	464,851	321,470	298,014	▲ 7.3
	構造別	給与住宅	34,885	26,053	11,698	9,547	9,228	9,366	10,136	13,473	8,003	▲ 40.6
		木造率(%)	(42.6)	(45.3)	(45.2)	(43.9)	(43.3)	(47.6)	(47.3)	(54.6)	(56.6)	3.7
		木造	727,765	666,124	555,814	542,848	559,201	504,546	516,875	430,121	460,134	7.0
		非木造	979,344	804,206	674,029	693,327	731,190	556,195	576,644	358,289	352,992	▲ 1.5
新設住宅着工床面積 (千㎡)	総数	137,490	136,524	119,879	106,593	108,815	90,651	90,768	68,324	72,910	6.7	
	資金別	民間資金	81,179	65,529	65,116	88,446	95,406	81,595	81,355	60,023	61,641	2.7
		公的資金	56,310	70,995	54,763	18,147	13,409	9,056	9,413	8,301	11,268	35.7
	利用関係別	持家	66,327	73,735	63,009	47,320	47,778	41,562	41,562	36,376	38,533	5.9
		分譲住宅	32,266	31,822	33,520	34,995	35,446	28,176	27,612	15,924	19,023	19.5
		貸家	36,350	29,162	22,526	23,616	24,973	20,290	20,945	15,261	14,849	▲ 2.7
	構造別	給与住宅	2,548	1,806	823	662	618	623	649	763	505	▲ 33.8
		木造率(%)	(52.7)	(54.1)	(53.8)	(53.0)	(53.1)	(56.7)	(56.7)	(63.8)	(64.8)	1.6
		木造	72,440	73,803	64,531	56,494	57,770	51,383	51,448	43,591	47,278	8.5
		非木造	65,050	62,722	55,347	50,100	51,045	39,268	39,319	24,733	25,632	3.6
1戸当たり床面積 (㎡)	総数	80.5	92.9	97.5	86.2	84.3	85.5	83.0	86.7	89.7	3.5	
	資金別	民間資金	67.5	78.2	86.6	84.6	83.2	84.9	82.6	87.0	89.2	2.6
		公的資金	111.5	112.3	114.7	94.9	93.4	90.7	86.3	84.4	92.1	9.1
	利用関係別	持家	136.3	137.1	139.5	133.9	133.3	132.0	130.5	127.8	126.2	▲ 1.2
		分譲住宅	85.0	90.2	97.1	94.8	93.5	95.6	92.0	94.3	94.2	▲ 0.1
		貸家	45.1	52.6	53.5	46.8	46.0	45.9	45.1	47.5	49.8	5.0
	構造別	給与住宅	73.0	69.3	70.4	69.3	67.0	66.5	64.0	56.6	63.1	11.5
		木造	99.5	110.8	116.1	104.1	103.3	101.8	99.5	101.3	102.7	1.4
		非木造	66.4	78.0	82.1	72.3	69.8	70.6	68.2	69.0	72.6	5.2

資料：国土交通省「住宅着工統計」

注1：資金別で公的資金と民間資金を併用した住宅は、公的資金に含めて計上した。

2：計の不一致は四捨五入による。

56 工法別新設木造住宅着工戸数

(単位：戸、%)

	H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)	22 (10)	対前年増減率 (%)
木造軸組工法住宅	(88.2)	(83.3)	(80.3)	(78.5)	(77.4)	(77.0)	(75.7)	(75.3)	(76.0)	
	642,102	554,690	446,359	426,299	432,731	388,435	391,193	323,950	349,865	8.0
ツーバイフォー工法住宅	(7.0)	(11.1)	(14.2)	(17.7)	(18.8)	(19.5)	(20.8)	(21.3)	(20.9)	
	51,093	73,989	79,114	95,824	105,390	98,555	107,715	91,730	96,104	4.8
木質系プレハブ工法住宅	(4.8)	(5.6)	(5.5)	(3.8)	(3.8)	(3.5)	(3.5)	(3.4)	(3.1)	
	34,570	37,445	30,341	20,725	21,080	17,556	17,967	14,441	14,165	▲ 1.9
合計	727,765	666,124	555,814	542,848	559,201	504,546	516,875	430,121	460,134	7.0

資料：国土交通省「住宅着工統計」

注1：()は、新設木造住宅着工戸数に占める割合。

2：四捨五入のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

海外の森林

57 世界各国の森林面積

国名	土地面積 (千ha)	森林面積 (千ha)	人工林面積 (千ha)	森林率 (%)	1人当たり森林面積 (ha)	国名	土地面積 (千ha)	森林面積 (千ha)	人工林面積 (千ha)	森林率 (%)	1人当たり森林面積 (ha)
オーストリア共和国	8,245	3,887	-	47.1	0.5	アンゴラ共和国	124,670	58,480	128	46.9	3.2
ベルギー・ルクセンブルグ	3,287	765	424	23.3	0.1	カメルーン国	47,271	19,916	-	42.1	1.0
チェコ共和国	7,726	2,657	2,635	34.4	0.3	コートジボワール共和国	31,800	10,403	337	32.7	0.5
デンマーク王国	4,243	544	407	12.8	0.1	スーダン共和国	237,600	69,949	6,068	29.4	1.7
エストニア共和国	4,239	2,217	168	52.3	1.7	チャド共和国	125,920	11,525	17	9.2	1.1
フィンランド共和国	30,409	22,157	5,904	72.9	4.2	コンゴ民主共和国	226,705	154,135	59	68.0	2.4
フランス共和国	55,010	15,954	1,633	29.0	0.3	エチオピア連邦民主共和国	109,631	12,296	511	11.2	0.2
ドイツ連邦共和国	34,877	11,076	5,283	31.8	0.1	マダガスカル共和国	58,154	12,553	415	21.6	0.7
ギリシャ共和国	12,890	3,903	140	30.3	0.4	マリ共和国	122,019	12,490	530	10.2	1.0
ハンガリー共和国	8,961	2,029	1,612	22.6	0.2	モザンビーク共和国	78,638	39,022	62	49.6	1.7
アイスランド共和国	10,025	30	27	0.3	0.1	タンザニア連合共和国	88,580	33,428	240	37.7	0.8
アイルランド	6,888	739	657	10.7	0.2	ザンビア共和国	74,339	49,468	62	66.5	3.9
イタリア共和国	29,411	9,149	621	31.1	0.2	ジンバブエ共和国	38,685	15,624	108	40.4	1.3
オランダ王国	3,388	365	365	10.8	0.0	アフリカ計	2,974,011	674,419	15,326	22.7	0.7
ノルウェー王国	30,427	10,065	1,475	33.1	2.1	カンボジア王国	17,652	10,094	69	57.2	0.7
ポーランド共和国	30,633	9,337	8,889	30.5	0.2	中華人民共和国	942,530	206,861	77,157	21.9	0.2
ポルトガル共和国	9,068	3,456	849	38.1	0.3	インド	297,319	68,434	10,211	23.0	0.1
ロシア連邦	1,638,139	809,090	16,991	49.4	5.7	インドネシア共和国	181,157	94,432	3,549	52.1	0.4
スロバキア共和国	4,810	1,933	959	40.2	0.4	イラン・イスラム共和国	162,855	11,075	844	6.8	0.2
スロベニア共和国	2,014	1,253	32	62.2	0.6	イスラエル	2,164	154	88	7.1	0.0
スペイン	49,919	18,173	2,680	36.4	0.4	日本国	36,450	24,979	10,326	68.5	0.2
スウェーデン王国	41,033	28,203	3,613	68.7	3.1	マレーシア	32,855	20,456	1,807	62.3	0.8
スイス連邦	4,000	1,240	172	31.0	0.2	ミャンマー連邦	65,755	31,773	988	48.3	0.6
グレートブリテンおよび北部アイルランド連合王国(英国)	24,250	2,881	2,219	11.9	0.0	大韓民国	9,873	6,222	1,823	63.0	0.1
ヨーロッパ計	2,214,726	1,005,001	69,318	45.4	1.4	タイ王国	51,089	18,972	3,986	37.1	0.3
アルゼンチン共和国	273,669	29,400	1,394	10.7	0.7	トルコ共和国	76,963	11,334	3,418	14.7	0.2
ブラジル連邦共和国	832,512	519,522	7,418	62.4	2.7	ベトナム社会主義共和国	31,008	13,797	3,512	44.5	0.2
チリ共和国	74,880	16,231	2,384	21.7	1.0	アジア計	3,091,407	592,512	122,777	19.2	0.1
コロンビア共和国	110,950	60,499	405	54.5	1.3	カナダ	909,351	310,134	8,963	34.1	9.3
ペルー共和国	128,000	67,992	993	53.1	2.4	メキシコ	194,395	64,802	3,203	33.3	0.6
ベネズエラ共和国	88,205	46,275	-	52.5	1.6	アメリカ合衆国(米国)	916,193	304,022	25,363	33.2	1.0
南アメリカ計	1,746,292	864,351	13,821	49.5	2.2	北アメリカ計	2,134,979	705,393	37,529	33.0	1.3
オーストラリア	768,228	149,300	1,903	19.4	7.1	ニュージーランド	26,771	8,269	1,812	30.9	2.0
オセアニア計	849,094	191,384	4,100	22.5	5.5	世界計	13,010,509	4,033,060	262,871	31.0	0.6

資料：FAO「The Global Forest Resources Assessment 2010」
 注1：OECD加盟国、及び、森林面積が1,000万ha以上でかつ人口が1,000万人以上の国を対象。
 注2：土地面積(内水面面積を除く)、森林面積は2010年、人口は2008年の数値。「-」はデータ無し。

参考付表

58 世界の木材生産量と木材貿易量

① 木材生産量

(単位：木質パルプは千トン、その他は千㎡)

地域	丸太	産業用材		製材	合板等	木質パルプ	
		産業用材	薪炭用材				
世界計	3,275,144	1,424,411	1,850,734	362,437	259,944	159,913	
大陸別	アフリカ	674,080	71,639	602,441	8,270	2,685	2,697
	北米	452,101	409,506	42,595	94,818	40,131	64,927
	中南米	481,272	198,376	282,895	40,114	15,244	21,566
	アジア	1,010,695	240,021	770,674	89,113	127,750	23,857
	ヨーロッパ	596,009	454,590	141,419	121,570	70,455	44,162
	オセアニア	60,988	50,278	10,710	8,552	3,678	2,704

② 木材輸出量

(単位：木質パルプは千トン、その他は千㎡)

地域	丸太	産業用材		製材	合板等	木質パルプ	
		産業用材	薪炭用材				
世界計	101,585	95,507	6,078	102,889	64,237	46,240	
大陸別	アフリカ	2,710	2,693	17	1,710	490	989
	北米	12,503	12,203	300	22,498	6,355	13,846
	中南米	4,742	4,734	8	4,461	4,621	14,154
	アジア	6,065	6,038	27	4,418	20,501	3,158
	ヨーロッパ	62,490	56,778	5,713	67,533	31,137	13,192
	オセアニア	13,074	13,062	13	2,270	1,133	902

③ 木材輸入量

(単位：木質パルプは千トン、その他は千㎡)

地域	丸太	産業用材		製材	合板等	木質パルプ	
		産業用材	薪炭用材				
世界計	96,353	91,558	4,795	94,254	61,716	46,751	
大陸別	アフリカ	767	761	7	7,210	1,276	440
	北米	5,667	5,470	197	17,120	9,326	4,709
	中南米	390	386	4	4,284	2,474	2,302
	アジア	42,728	42,624	104	26,175	18,568	22,529
	ヨーロッパ	46,784	42,302	4,482	38,817	29,676	16,473
	オセアニア	17	14	2	650	397	298

資料：FAO「FAOSTAT」(2011年1月12日最終更新で、2011年3月31日現在で有効なもの)

注1：2009年の数値。

2：輸出入量における産業用材については、チップ、残材を含む。

3：製材は、枕木を含む。

4：合板等とは、単板、合板、パーティクルボード及びファイバーボードである。

5：計の不一致は四捨五入による。

59 産業用材の主な生産・輸出入国

(単位：千㎡)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出量	主な輸入国	輸入量
米国	304,398	ロシア	21,700	中国	28,653
ブラジル	122,160	米国	9,511	オーストリア	8,036
ロシア	112,900	ニューゼaland	8,767	ドイツ	7,199
カナダ	105,108	ドイツ	4,205	韓国	5,165
中国	93,129	マレーシア	4,165	カナダ	4,555
世界計	1,424,411	世界計	95,507	世界計	91,558

資料：FAO「FAOSTAT」(2011年1月12日最終更新で、2011年3月31日現在で有効なもの)

注1：2009年の数値。

2：輸出量及び輸入量については、チップ、残材を含む。

3：生産量、輸出量、輸入量について、それぞれ上位5か国及び世界計を計上した。

60 製材の主な生産・輸出入国

(単位：千㎡)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出量	主な輸入国	輸入量
米国	61,998	カナダ	19,001	米国	15,428
カナダ	32,820	ロシア	16,200	中国	11,006
中国	32,783	スウェーデン	12,271	ドイツ	5,649
ブラジル	24,987	ドイツ	9,810	日本	5,568
ドイツ	20,674	オーストリア	5,799	イタリア	5,567
世界計	362,437	世界計	102,889	世界計	94,254

資料：FAO「FAOSTAT」(2011年1月12日最終更新で、2011年3月31日現在で有効なもの)

注1：2009年の数値。

2：枕木を含む。

3：生産量、輸出量、輸入量について、それぞれ上位5か国及び世界計を計上した。

61 合板等の主な生産・輸出入国

(単位：千㎡)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出量	主な輸入国	輸入量
中国	94,451	中国	8,512	米国	7,141
米国	29,097	ドイツ	6,496	ドイツ	4,599
ドイツ	14,813	マレーシア	5,661	日本	3,841
カナダ	11,034	カナダ	4,649	中国	2,628
ロシア	8,613	インドネシア	2,982	英国	2,500
世界計	259,944	世界計	64,237	世界計	61,716

資料：FAO「FAOSTAT」(2011年1月12日最終更新で、2011年3月31日現在で有効なもの)

注1：2009年の数値。

2：合板等とは、単板、合板、パーティクルボード及びファイバーボードである。

3：生産量、輸出量、輸入量について、それぞれ上位5か国及び世界計を計上した。

62 木質パルプの主な生産・輸出入国

(単位：千トン)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出量	主な輸入国	輸入量
米国	47,702	ブラジル	8,592	中国	14,422
カナダ	17,225	カナダ	7,024	米国	4,577
ブラジル	13,861	米国	6,822	ドイツ	4,543
スウェーデン	11,668	チリ	4,310	イタリア	3,001
フィンランド	8,732	スウェーデン	3,332	韓国	2,378
世界計	159,913	世界計	46,240	世界計	46,751

資料：FAO「FAOSTAT」(2011年1月12日最終更新で、2011年3月31日現在で有効なもの)

注1：2009年の数値。

2：生産量、輸出量、輸入量について、それぞれ上位5か国及び世界計を計上した。

63 JICAを通じた森林・林業分野の技術協力プロジェクト等

地域	国名	プロジェクト名等	活動の内容
アジア	中国	四川省震災後森林植生復旧計画 2010/2/1～2015/1/31	四川大地震において被害を受けた森林の回復に必要な治山技術の開発や森林植生計画の策定を実施。
		西部地区林業人材育成計画 2010/3/1～2014/2/29	西部地区の人材育成に必要な研究ツール等の開発及び研修の実施。
		黄土高原林業新技術推進普及計画 2010/10/31～2015/10/30	砂漠化や表土流出の進行が著しい黄土高原に適した林業技術・管理手法の構築及び研修の実施。
	インドネシア	国家森林計画実施支援 2009/12/1～2012/11/30	インドネシア国の自然環境保全及び気候変動対策にかかわる政策助言及び政策形成支援を実施。
		保全地域における生態系保全のための荒廃地回復向上支援 2010/3/15～2015/3/14	国立公園及びその周辺地域における荒廃地の回復及びその地域を管理するための体制を構築。
		衛星情報を活用した森林資源管理支援 2008/9/11～2011/9/10	衛星情報に係る技術移転を通じた森林資源調査実施能力の向上。
		泥炭湿地林周辺地域における火災予防のためのコミュニティ能力強化 2010/7/12～2015/7/11	地域住民の火災予防及び火災対策能力の向上及び行政組織間の連携強化。
	ラオス	インドネシアの泥炭における火災と炭素管理(※) 2010/2/1～2014/1/31	インドネシアにおける二酸化炭素の放出源である熱帯泥炭を管理するシステムの構築。
		森林減少抑制のための参加型土地・森林管理 2009/8/24～2014/8/23	北部6県を対象に、参加型土地・森林利用管理を主体とする森林減少抑制システムの開発。
	ベトナム	森林セクター能力強化プロジェクト 2010/10/1～2014/9/30	REDD+など森林政策制度の構築支援及び森林分野における計画・運営・実施管理に関する能力の開発。
		造林計画策定実施能力強化プロジェクト 2010/3/11～2013/3/31	ベトナム地方省行政職員を対象とした、造林計画の策定に関する研修の実施及び研修体系、教材の整備。
	ミャンマー	北西部水源地域における持続可能な森林経営プロジェクト 2010/8/15～2014/8/14	ベトナム北西部の省を対象に、森林保全に資する土地利用と土地利用による生計向上を両立する計画とモデルの構築。
		エーヤーワディ・デルタ住民参加型マングローブ総合管理計画プロジェクト 2007/4/1～2013/3/31	エーヤーワディ・デルタ地域内のプロジェクトが実施された地域における、地域住民とマングローブ林の持続的な共生。
	東ティモール	持続可能な天然資源管理能力向上プロジェクト 2010/12/20～2015/10/31	中山間地の貧困農民を対象とした住民参加型の土地利用計画と天然資源管理の実践。
インド	森林研修センター研修実施能力向上プロジェクト 2009/3/24～2014/3/23	インド政府の森林分野の研修能力の強化。	
ネパール	地方行政強化を通じた流域管理向上 2009/7/15～2014/7/14	住民参加型の流域管理活動の促進に必要な能力の向上を図る。	
イラン	参加型森林・草地管理プロジェクト 2010/7/8～2015/6/30	イラン南西部の州政府行政職員の能力向上計画の策定、村落の森林・草地保全に資する代替生計手段の導入。	
キルギス	共同森林管理実施能力向上プロジェクト 2009/1/20～2014/1/19	パイロット地区における住民参加による森林再生と維持・管理及び他の地域への手法の普及。	
パプアニューギニア	気候変動対策のための森林資源モニタリングに適する能力向上計画 2011/3/20～2014/3/19	リモートセンシングを活用した全国森林資源モニタリングの実施体制強化、全国森林資源データベースの整備。	
中南米	ブラジル	アマゾン森林保全・違法伐採防止のためのALOS衛星画像の利用 2009/6/17～2012/6/16	我が国の衛星画像を活用したモニタリングシステムの改良及び人材育成により、違法伐採等の環境犯罪の取締強化を図る。
		ブラジル・アマゾン熱帯林における炭素動態(※) 2010/5/19～2014/5/18	継続的な森林インベントリー・システムの構築及び、リモートセンシング技術と衛星データ等による炭素蓄積量の動態マップの作成。
	パナマ	アラフエラ湖流域総合管理・参加型村落開発プロジェクト 2006/8/1～2011/7/31	アラフエラ湖の中下流域の村落における、持続的な農業生産技術の普及。
コロンビア	天然林の管理と持続的利用プロジェクト 2007/2/18～2012/2/17	天然林の管理と持続的利用に関する関係機関の能力向上。	
アフリカ	エチオピア	ベレテ・ゲラ参加型森林管理計画フェーズⅡ 2006/10/1～2012/3/31	オロミア州ベレテ・ゲラ地域における、地域住民の参加による持続的な森林管理手法の普及。
	ブルキナファソ	コモ工具における住民参加型持続的森林管理計画 2007/7/1～2012/6/30	対象となる4つの指定林において、森林管理住民組織及び住民組織組合を通じて、地域住民による持続的森林管理を目指した活動の実施。
		苗木生産支援プロジェクト 2010/4/10～2013/3/31	苗木生産グループへの技術研修の実施、森林官に対する苗木生産技術、指導技術研修の実施及び情報共有の強化。
	セネガル	劣化土壌地域における土地劣化抑制、有効利用促進のための能力向上計画 2011/2/1～2016/1/31	森林を活用した、酸性化した土壌の劣化抑制及び土地の有効利用に向けた関係者の能力向上。
マラウイ	シレ川中流域における村落振興・森林復旧プロジェクト 2007/11/5～2012/11/4	森林の保全・復旧に配慮した各種生産活動が地域住民によって実施されるための能力向上。	

資料：林野庁業務資料

注1：平成23(2011)年3月末日現在実施中のものである。

2：(※)は、JICA及びJST(科学技術振興機構)を通じた地球規模課題に対応する科学技術協力における森林・林業分野のプロジェクトである。

64 JICAを通じた森林・林業分野の開発調査事例

地域	国名	案件名	協力期間	協力の内容
アジア	ベトナム	気候変動対策の森林分野における潜在的適地選定調査	2009～2011年度	気候変動対策の緩和に貢献し得る土地の情報の集積。
アフリカ	マリ	ニジェール川の中央デルタ保全調査	2010～2014年度	森林の気候変動対策の緩和に貢献しうる土地の情報の集積。

資料：林野庁業務資料

注：平成23(2011)年3月末日現在実施中のものである。

65 森林・林業分野の円借款事例

地域	国名	案件名	交換公文署名日	概要
アジア	インド	ハリヤナ州森林資源管理・貧困削減計画	2004/3/31	インド北部ハリヤナ州において、住民参加型の植林を通して森林を拡大・再生させるとともに、事業地域の貧困層の所得向上を支援し、貧困削減を図るもの。
		タミールナド州植林計画(Ⅱ)	2005/3/29	インド南部タミールナド州において、住民参加型の植林を通じて森林を拡大・再生させ、事業地域の貧困層の所得向上を支援し、貧困削減を図るもの。
		カルナタカ州持続的森林資源管理・生物多様性保全計画	2005/3/29	インド南部カルナタカ州において、住民参加型の植林を通じて森林を拡大・再生させ、事業地域の貧困層の所得向上を支援するとともに、生物多様性の保全を図るもの。
		オリッサ州森林セクター開発計画	2006/3/31	オリッサ州において、森林再生、防災及び地域住民の生活水準の向上を図るため、住民及びNGOと対話を行いつつ、住民参加型の植林(海岸防災林を含む)、森林に依存せず生計を支える活動の支援、住民の森林管理能力を強化するための施策等を実施するもの。
		スワン川総合流域保全計画	2006/3/31	ヒマチャル・プラデシュ州ウナ県のスワン川流域において、地方開発の促進、森林の再生及び地域住民の生活水準の向上を図るため、住民参加型の植林等を通じた森林再生、農地保全等を行うもの。
		トリプラ州森林環境改善・貧困削減計画	2007/3/30	トリプラ州において、森林再生、防災及び地域住民の生活水準の向上を図るため、住民参加型の植林、森林に依存せず生計を支える活動の支援、住民の森林管理能力を強化するための施策等を行うもの。
		グジャラート州森林開発計画(フェーズ2)	2007/3/30	グジャラート州において、森林再生、防災及び地域住民の生活水準の向上を図るため、住民参加型の植林(海岸防災林を含む)、森林に依存せず生計を支える活動の支援、住民の森林管理能力を強化するための施策等を行うもの。
		ウッタル・プラデシュ州参加型森林資源管理・貧困削減計画	2008/3/10	ウッタル・プラデシュ州において、植林を通じた住民参加型の森林保全管理及び生計改善活動等を行うもの。
		森林管理能力強化・人材育成計画	2008/10/22	インド各州(10州)森林局の森林管理研修内容の改善及び老朽化した施設の改修・建設を通じ、研修体制を改善するもの。
		シッキム州生物多様性保全・森林管理計画	2010/3/29	シッキム州に位置する国立公園及び野生生物保護区の管理能力強化、森林局の活動基盤の強化・整備等を実施するもの。
		タミル・ナド州生物多様性保全・植林計画	2011/2/17	タミル・ナド州において、在来種の植林活動及び実施機関の組織強化、生物多様性保全活動等を行うもの。
アジア	中国	甘粛省植林植草計画	2003/3/28	甘粛省河西回廊地区で植林及び植草を行うことで地域の植生被覆の増加を図り、同地域での砂漠化防止により生活環境及び自然環境の改善を図るもの。
		内蒙古自治区植林植草計画	2003/3/28	内蒙古自治区南部黄河流域で植林及び植草を行うことで地域の森林率及び植生被覆の増加を図り、同地域での砂漠化防止により生活環境及び自然環境の改善を図るもの。
		江西省植林計画	2004/3/31	長江中流域の生態環境保全、土壌流出軽減等、森林の多面的機能の回復を図ることを目的として、江西省で防護林を主とする植林を行うもの。
		湖北省植林計画	2004/3/31	長江中流域の生態環境保全、土壌流出軽減等、森林の多面的機能の回復を図ることを目的として、湖北省で防護林を主とする植林を行うもの。
		四川省生態環境整備計画	2005/3/29	土壌流出軽減、生態系保全等を目的として、四川省で植林、植草等を行うもの。
		新疆ウイグル自治区伊寧市環境整備計画	2005/3/29	上下水道施設、熱供給施設等の整備及び都市生態防護林の植林を行い、同市の総合的な環境改善を図るもの。
		貴州省環境社会発展計画	2006/6/23	貴州省東部の貧困地域において、植林等の環境対策、上水道、医療施設の整備等の衛生対策、高等学校施設の整備を行うことにより、劣悪な環境、衛生、教育状況を改善するもの。
		河南省植林計画	2006/6/23	土壌流出軽減、生態系保全等を目的として、河南省で植林を行うもの。
		吉林省松花江流域生態環境整備計画	2007/3/30	吉林省松花江流域において、植林を行い、森林率の向上・草原の再生を図ることにより、森林の多面的機能の回復・砂漠化防止に寄与するもの。
		青海省生態環境整備計画	2007/12/1	青海省青海湖周辺において、植林・退化草地の改善及び関連施設(小規模砂防ダム、護岸工事等)の整備を行うことにより、森林・草原の多面的機能の回復、砂漠化の防止を図るもの。
		アジア	インドネシア	気候変動対策プログラム・ローンⅢ
ベトナム	気候変動対策プログラム・ローン		2010/5/14	ベトナムが進める気候変動対策を、政策対話を通じて支援することにより、①温室効果ガス吸収・排出規制による温暖化緩和に貢献するほか、②気候変動の悪影響に対する適応能力強化、③気候変動に係る分野横断的課題への対応に寄与するもの。
北アフリカ	チュニジア	総合植林計画(Ⅱ)	2008/3/28	チュニジアの5県(ベジャ県、ジェンドゥーバ県、ケフ県、シリアナ県、ザグアン県)において、植林、森林火災対策、地域住民の生計支援等の包括的な森林保全活動を行うことにより、森林再生やその持続的管理、同地域における自然環境改善を図るもの。
	モロッコ	河川流域保全計画	2007/3/30	メラ川流域、アラル・エル・ファシダム上流域において、植林、小規模砂防工事、村落開発計画の実施及び地域住民の生活改善啓蒙活動等、森林保全に関する活動を行うもの。

資料：外務省ホームページ

注：平成23(2011)年3月末日現在実施中のものである(平成22(2010)年3月末までにE/N締結した案件を含む)。

66 森林・林業分野の無償資金協力事例

地域	国名	案件名	交換公文署名日	概要
アジア	タイ・カンボジア	メコン森林保護地域の越境生物多様性保全計画	2010/10/28	管理計画の改善、人材育成、地域住民の生活改善などを通じて、両国の国境地域の森林減少や森林の劣化の抑制及び生物多様性の保全等を図る。
	ベトナム	カマウ省森林火災跡地コミュニティ開発支援計画	2008/3/12	カマウ省の最貧国地域であるウミンハ地区の林業、農業等に携わる住民の所得向上を図るため、基礎的生活水準確保のためのインフラ整備。
		第二次中南部海岸保全植林計画	2009/7/6	クアンガイ省において409haの海岸保全植林等の整備を行うもの。
		森林保全計画	2010/5/27	森林資源現況の把握及び適切な森林管理計画の策定により持続可能な森林経営に資するとともに、森林分野における気候変動対策として温室効果ガス排出削減に貢献。
	ラオス	森林資源情報センター整備計画	2010/3/4	森林の減少・劣化の抑制のために必要な森林資源情報センターの建設等を行うもの。
		森林保全計画	2010/3/4	森林資源現況の把握及び適切な森林管理計画の策定により持続可能な森林経営に資するとともに、森林分野における気候変動対策として温室効果ガス排出削減に貢献。
	東ティモール	森林保全計画	2010/3/15	
	カンボジア	森林保全計画	2010/3/18	
	インドネシア	森林保全計画	2010/3/18	
	パプアニューギニア	森林保全計画	2010/3/19	
	ネパール	森林保全計画	2010/4/28	
	サモア	森林保全計画	2010/6/29	
	タイ	森林保全計画	2010/9/30	
アフリカ	ケニア	森林保全計画	2010/3/8	
	ガーナ	森林保全計画	2010/3/12	
	カメルーン	森林保全計画	2010/3/17	
	ガボン	森林保全計画	2010/3/18	
	エチオピア	森林保全計画	2010/3/18	
	コートジボワール	森林保全計画	2010/4/19	
	モザンビーク	森林保全計画	2010/4/28	
	マラウイ	森林保全計画	2010/5/7	
	コンゴ民主共和国	森林保全計画	2010/5/18	
	ブルキナファソ	国立水森林学校教育研修能力強化計画	2010/12/2	森林官の育成等を目的とする森林学校の教室及び寄宿舎の増設、研修用機材の整備、情報処理に関する技術支援等を行うもの。
中南米	コスタリカ	森林保全計画	2010/3/19	森林資源現況の把握及び適切な森林管理計画の策定により持続可能な森林経営に資するとともに、森林分野における気候変動対策として温室効果ガス排出削減に貢献。
	パラグアイ	森林保全計画	2010/5/21	
	ボリビア	森林保全計画	2010/7/5	
	ペルー	森林保全計画	2010/9/21	

資料：外務省ホームページ

注：平成23(2011)年3月末日現在実施中のものである。

国有林野事業

67 国有林野事業における主要事業量

		H2年度 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
収穫量 (千m ³)	総数	9,863	7,427	4,910	5,744	5,990	7,201	7,038	7,802
	立木販売	5,657	5,026	4,212	3,796	3,320	4,162	3,703	4,303
	丸太販売	4,207	2,401	698	1,948	2,670	3,039	3,335	3,499
更新面積 (ha)	総数	98,938	68,132	34,036	11,830	13,204	16,351	15,639	11,926
	人工造林	11,739	6,919	4,592	2,992	4,643	7,948	8,517	7,022
	天然更新	88,239	62,950	29,444	8,838	8,561	8,403	7,122	4,904
林道 (km)	新設	610	230	99	138	130	123	109	135
	改良	589	1,368	866	653	712	588	602	954
治山 (百万円)	国有林治山	20,103	48,555	48,054	20,618	24,490	19,948	23,990	29,502
	災害復旧	3,668	13,800	12,473	24,317	11,818	11,769	23,268	3,181

資料：林野庁業務資料

注1：収穫量は、立木材積であり、内部振替並びに分収造林及び分収育林収分を含む。

2：丸太販売は、丸太を生産した時点で年度区分した。

3：更新面積には、森林災害復旧造林事業費による実行分を含む。

4：人工造林には、新植のほか改植、人工下種を含む。

5：災害復旧は、平成8(1996)年度までは国有林野内直轄施設災害復旧事業及び治山災害関連緊急事業の額であり、平成9(1997)年度以降は特殊地下壕対策事業を含む。

6：計の不一致は四捨五入による。

68 森林生態系保護地域の概要

名 称	面積 (千ha)	特 徴
日高山脈中央部	66	日高側は針葉樹林及び針広混交林、十勝側は広葉樹林であり、中腹以上はダケカンバ帯、ハイマツ帯に至る
漁 岳 周 辺	3	大雪山等道央のエゾマツ・トドマツ林と渡島半島のブナ林との移行地域として重要で、ブナを欠く広葉樹林から針広混交林、さらにはダケカンバ帯に至る
大雪山忠別川源流部	11	下部のエゾマツ・トドマツの北方針葉樹林からダケカンバ帯、ハイマツ帯に至る
知 床	46	冷温帯汎針広混交林、高山植生、海浜断崖植生
狩場山地須築川源流部	3	下部はブナ天然林の集団としての北限、上部はダケカンバ帯、ハイマツ帯に至る
恐 山 地	6	ヒノキアスナロ及びブナ等を中心として土地的・気候的極相を示す冷温帯森林
早 池 峰 山 周 辺	8	ブナ、ヒノキアスナロ等の天然林とアカエゾマツの南限
白 神 山 地	17	ブナを中心とした冷温帯落葉広葉樹林
葛根田川・玉川源流部	9	下部はブナ極相林、上部はオオシラビソを主とする天然林
くりこまやま・とちがもりやましゅうへん 栗駒山・栃ヶ森山周 辺	16	日本海型から太平洋型への移行帯における優れたブナ林、山頂付近はミヤマナラ、ハイマツの低木混交林
あさ 朝 日 山 地	70	低地のブナ～高地のハイマツまで日本海側多雪山地の植生分布
い い で やま しゅう へん 飯 豊 山 周 辺	29	山地帯は広大なブナ林、高山帯には固有種のイデリンドウを始めとする170種に及び多様な高山植物
あ ず ま やま しゅう へん 吾 妻 山 周 辺	12	顕著な亜高山帯針葉樹林とブナ林、シラベの北限
とねがわけりゅうぶ・ひうちがたけしゅうへん 利根川源流部・燧ヶ岳周 辺	20	ブナ、オオシラビソ等の天然林、ミヤマナラ等の多雪地広葉樹低木林
お 興 あい つ 奥 会 津	84	オオシラビソ等の亜高山性針葉樹林、ブナ、ミズナラ林等の冷温帯落葉広葉樹林、コナラ、アカシデ等の中間温帯林により構成
さ ぶ る やま しゅう へん 佐 武 流 山 周 辺	13	日本海側の典型的な豪雪地帯のブナ林、亜高山帯はオオシラビソ、シラベ、キタゴヨウの針葉樹林
お がさ わら し よ と う 小 笠 原 諸 島	6	亜熱帯植生、山地にシマホルトノキ、オガサワラグワ等の湿性高木林
みなみ なんぶかりだけ 南 アルプス 南部光 岳	5	ブナ、ミズナラの落葉広葉樹から、ツガ、シラベ、分布の南限であるハイマツ等の垂直分布
ちゅうおう きそこまがたけ 中央アルプス木曾駒ヶ 岳	4	日本海型から太平洋型気候の推移帯で、ヒノキ、シラビソ、コメツガ、ハイマツ等の多種多様な植物からなる森林の垂直分布
きた かなきどがわ・たかせがわけりゅうぶ 北アルプス金木戸川・高瀬川源流部	8	山地帯のクロベ、亜高山帯のシラビソ、オオシラビソ、ダケカンバ、高山帯のコケモモ、ハイマツ等の本州内陸型の代表的な植生
は く 山 白 山	15	ブナ、分布の西限であるハイマツ、オオシラビソ等
お お すぎ だに 大 杉 谷	1	スギ、タブ、ブナ、トウヒ等の垂直分布
だ い せん 山 大 山	3	日本海型ブナ林地域、亜高山帯のダイセンキャラボク群落
い し づち さん けい 石 鎚 山 系	4	暖温帯性のウラジロガシから亜寒帯性のシラベまでの垂直分布
そ ぼ さん・かたむきやま・おおくえやましゅうへん 祖母山・傾山・大崩山周 辺	6	アカガシ等の常緑広葉樹からツガ、ブナ、ヒメコマツ等の垂直分布
い な お だ け しゅう へん 稲 尾 岳 周 辺	1	シイを中心とする暖温帯常緑広葉樹林帯に属し、山頂には一部モミ、ツガが混生
あ や 綾	1	樹齢300年以上のイチイガシやイスノキを有し、標高ごとに多種多様な樹木が分布
や や 屋 久 島	15	世界的に稀な高齢ヤクスギ群とヤクシマチシダ等多数の固有種を含むシダ類や豊富な蘚苔類に特徴づけられる植生
い い り 西 表 島	12	スダジイの優占する常緑広葉樹林、ガジュマル等の群落、メヒルギ等のマングローブ林
合 計	495	

資料：林野庁業務資料
 注1：平成22(2010)年4月1日現在の数値。
 2：計の不一致は四捨五入による。

69 平成 21 (2009) 年度に新たに設定又は拡張に取り組んだ保護林の概要

	名称 (所在地)	面積 (ha)	概 要
設 定	つしましらたけ 対馬白嶽植物群落保護林 (長崎県対馬市)	198 <198>	山頂部には、チョウセンヤマツツジ、イワシデ等の中国大陸由来の植物を含む植物群落があり、また、山腹には、本土では高標高部にしかないアカガシ群落があることから、これらを保護する。
	つつないんたつら やまかんざき 豆殿内院龍良山神崎植物群落保護林 (長崎県対馬市)	99 <99>	神崎半島の照葉樹林は典型的な暖地性照葉樹林であり、スダジイ、イスノキ、ナタオレノキ等から成る植物群落を保護する。
拡 張	せじややしき 木地屋敷敷ブナ植物群落保護林 (兵庫県香美町)	24 <4>	但馬山地の自然を代表するブナ林を主体とする高齢級天然林を保護する。
	じゅうもんじやま 十文字山林木遺伝資源保存林 (島根県浜田市)	45 <21>	天然スギ、イヌブナ、ミスナラの遺伝資源を保護する。
	じゅうもんじやま 十文字山ブナ植物群落保護林 (島根県浜田市)	42 <36>	中国山地の自然を代表するブナ、ミスナラ等の天然林を保護する。
	つたつたつやま 豆殿龍良山山林木遺伝資源保存林 (長崎県対馬市)	117 <20>	胸高直径 1 m 以上のスダジイを始め、イスノキ、アカガシ、イヌマキ等からなる原生林に近い照葉樹林は、国内最大級の規模であり、スダジイ、イスノキ、アカガシ、イヌマキの遺伝資源を保護する。
	みたび 御岳特定動物生息地保護林 (長崎県対馬市)	156 <11>	国内希少野生動物種であるツシマヤマネコの繁殖地及び生息地を保護する。
合 計 7 か 所		681 <389>	

注 1 : 国内希少野生動物種とは、日本国内に生息し又は生育する絶滅のおそれのある野生動物の種であって、絶滅のおそれのある野生動物の種の保存に関する法律施行令で指定されている種である。
2 : < > 書は、保護林の面積のうち、平成 21 (2009) 年度に設定又は拡張した面積。

70 レクリエーションの森の整備状況及び利用者数

区 分	箇所数	面積 (千ha)	利用者数 (百万人)							代 表 地
			H7年度 (1995)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)	
自然休養林	89	104	33	27	27	27	32	31	29	たかおさん、あかさね やくしま 高尾山、赤沢、屋久島
自然観察教育林	163	31	17	19	17	16	16	16	14	ほこね、かるいざわ、かみこうち 箱根、軽井沢、上高地
風景林	481	179	50	48	42	45	32	31	28	ましゅう、あらしやま、みやじま 摩周、嵐山、宮島
森林スポーツ林	56	8	2	2	1	1	1	1	1	かげのまつばら、おうのせき、にしのおら 風の松原、扇の仙、西之浦
野外スポーツ地域	196	48	58	40	34	32	34	30	24	はちまんたい、たんぼら、なえぼ 八幡平、玉原、苗場
風致探勝林	108	20	22	21	21	18	16	16	14	まろうんきょう、うまがたげ、ほだか 層雲峡、駒ヶ岳、穂高
合 計	1,093	390	182	157	143	139	131	123	110	

資料：農林水産省「国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」

注 1 : 箇所数及び面積は平成 22 (2010) 年 4 月 1 日現在の数値であり、利用者数は各年度の数値。

2 : 計の不一致は四捨五入による。

71 遊々の森等の箇所数及び面積

		H17年度 (2005)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
遊 々 の 森	箇 所 数	107	127	139	152	162
	面 積 (ha)	4,879	5,398	5,572	6,361	7,277
ふ れ あ い の 森	箇 所 数	147	151	143	150	132
	面 積 (ha)	4,829	4,672	4,570	4,843	3,544
木の文化を支える森づくり	箇 所 数	15	18	19	20	22
	面 積 (ha)	536	548	552	555	565

資料：林野庁業務資料

注：箇所数、面積は各年度末現在の数値であり、平成 20 (2008) 年度までは国が設定した箇所、平成 21 (2009) 年度は国と実施主体が協定を締結した箇所の数値である。

72 国有林野事業の収支

(単位：億円)

(単位：億円)

収 入								
科 目	H2年度 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
林 産 物 入	1,878	934	300	215	237	232	227	204
林 野 等 代	497	563	230	140	99	78	49	47
貸 付 料 入	234	124	91	76	74	63	62	62
一 般 会 計 よ り 受 入	194	573	790	1,106	1,734	1,954	1,902	2,151
治 山 勘 定 よ り 受 入	122	159	140	134	-	-	-	-
地 方 公 共 団 体 工 事 負 担 金 入 収	-	-	-	-	37	36	35	47
借 入 金	2,640	2,969	1,023	1,909	2,086	2,364	2,315	2,470
新 借 入 規 金	2,384	1,943	584	-	-	-	-	-
借 借 入 換 金	256	1,026	439	1,909	2,086	2,364	2,315	2,470
合 計	5,564	5,322	2,574	3,580	4,268	4,727	4,589	4,980

支 出								
科 目	H2年度 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
人 件 費	2,580	2,014	1,230	760	733	697	646	607
森 整 備 費	525	443	372	399	453	546	619	829
事 業 費	397	290	204	148	147	131	133	149
利 子 ・ 償 還 金	2,160	2,836	679	2,184	2,354	2,627	2,551	2,681
交 付 金 等	107	92	74	65	56	65	61	57
治 事 業 費	-	-	-	-	459	602	490	584
合 計	5,769	5,675	2,558	3,555	4,202	4,668	4,501	4,907

資料：林野庁業務資料

注1：計の不一致は四捨五入による。

2：平成18(2006)年度の「貸付料等収入」には「前年度剰余金受入」を含む。

3：平成18(2006)年度から勘定区分が廃止され、旧治山勘定のうち国が施行する治山事業を国有林野事業特別会計で経理している。

その他

73 林業等に対する金融機関別の貸付残高

(単位：十億円、%)

		H2年度 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)	対前年増減率 (%)
総計	合 計	5,305 (100)	5,690 (100)	4,659 (100)	3,132 (100)	3,015 (100)	2,921 (100)	2,815 (100)	3,358 (100)	-
	一 般 金 融 機 関	3,547 (67)	3,847 (68)	2,931 (63)	1,849 (59)	1,791 (59)	1,734 (59)	1,667 (59)	2,195 (65)	-
	系 統 金 融 機 関	488 (9)	458 (8)	394 (8)	234 (7)	225 (7)	219 (7)	204 (7)	233 (7)	-
	政 策 金 融 機 関	1,270 (24)	1,385 (24)	1,334 (29)	1,049 (33)	999 (33)	968 (33)	944 (34)	930 (28)	▲1
林業	小 計	1,338 (100)	1,369 (100)	1,262 (100)	1,036 (100)	991 (100)	975 (100)	961 (100)	1,563 (100)	-
	一 般 金 融 機 関	243 (18)	252 (18)	193 (15)	144 (14)	135 (14)	140 (14)	143 (15)	724 (46)	-
	系 統 金 融 機 関	155 (12)	119 (9)	93 (7)	48 (5)	45 (5)	43 (4)	40 (4)	75 (5)	-
	政 策 金 融 機 関	940 (70)	998 (73)	976 (77)	844 (81)	811 (82)	792 (81)	778 (81)	764 (49)	▲2
木材木製品製造業	小 計	3,967 (100)	4,321 (100)	3,396 (100)	2,096 (100)	2,024 (100)	1,946 (100)	1,853 (100)	1,795 (100)	▲3
	一 般 金 融 機 関	3,304 (83)	3,595 (83)	2,738 (81)	1,705 (81)	1,656 (82)	1,594 (82)	1,523 (82)	1,471 (82)	▲3
	系 統 金 融 機 関	333 (8)	339 (8)	301 (9)	186 (9)	180 (9)	176 (9)	164 (9)	158 (9)	▲4
	政 策 金 融 機 関	330 (8)	387 (9)	357 (11)	205 (10)	188 (9)	176 (9)	166 (9)	166 (9)	0

資料：一般金融機関は「日本銀行統計」(日本銀行調査統計局)、商工組合中央金庫、農林中央金庫は各金庫の資料、日本政策金融公庫、沖縄振興開発金融公庫は各公庫の資料、日本政策投資銀行は同銀行の資料による。

注1：各年度末現在の数値。

2：系統金融機関とは、商工組合中央金庫、農林中央金庫である。

3：政策金融機関とは、日本政策金融公庫、沖縄振興開発金融公庫、日本政策投資銀行である。

4：()は、合計、小計に対する割合(%)。

5：平成21(2009)年度以降の一般金融機関及び系統金融機関の林業欄の数字は、農・林業合計の貸付残高である。

6：平成17(2005)年度以降の政策金融機関には、日本政策投資銀行の貸付残高を含まない。

7：計の不一致は四捨五入による。